第166号 令和5年(2023年) 1月15日発行

公益社団法人 会報 日本学生陸上競技連合 会報

向上と進展



[発行所] 公益社団法人 日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階 TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

新年のご挨拶

銀 松本 正之

新年あけましておめでとうございます。日頃は、公 益社団法人日本学生陸上競技連合に対し、格別のご 理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨年も引き続き新型コロナ感染症の影響により、 多くの制限がありましたが、対策を講じたうえで有 観客開催としたことで競技会では以前の賑わいを取 り戻しつつあると感じます。FISUワールドユニバー シティゲームズ (2021/成都)の日本代表選手選考競 技会として4月に開催いたしました2022日本学生陸 上競技個人選手権大会 (神奈川県・平塚市)では、大 会新記録8つ、大会タイ記録が2つ誕生した大変ハイレベルな大会となりました。また、9月に開催いた しました天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手 権大会 (京都府・京都市)では、5つの大会新記録が 誕生しました。対校戦としては、男子は順天堂大学 が2年連続30度目の総合優勝、女子も日本体育大学 が2年連続10度目の総合優勝を飾りました。

駅伝シーズンでも新型コロナ感染症対策を講じながらの競技会運営となりましたが、沿道に観客の姿が戻ってきたおかげか好記録が続出しました。10月の第34回出雲全日本大学駅伝競走では駒澤大学が大会新記録で9年ぶり4度目の優勝を飾り、第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会では名城大学が史上初の6連覇を果たしました。そして、11月に伊勢路で開催された第54回全日本大学駅伝対校選手権大会では、出雲駅伝に引き続き駒澤大学が大会記録を

4分以上更新する圧倒的な走りをみせ2連覇を果たし、上位4チームが大会記録を上回りました。

これらの大会を無事かつ成功裡に開催できました のも、関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物と深く 感謝申し上げます。

なお、2022年度内行事として3月に男女のハーフマラソン選手権大会(男子:立川、女子:松江)、第17回日本学生20km競歩選手権大会(能美)が控えております。どちらもFISUワールドユニバーシティーゲームズの日本代表選手選考競技会となるため、競技者には一層の奮起を期待しております。

新年度は、アジア陸上競技選手権(タイ・パタヤ)が7月に、世界陸上競技選手権大会(ハンガリー・ブタペスト)と2年連続で延期となっているFISUワールドユニバーシティゲームズ(成都)が8月に、アジア競技大会(中国・杭州)が9月にと国際大会が続きます。また、4月には日本学生陸上競技個人選手権大会(平塚市)、7月には秩父宮賜杯第63回実業団・学生対抗陸上競技大会(平塚市)、9月には天皇賜盃第92回日本学生陸上競対校選手権大会(熊谷市)が開催されます。

これらの各種大会に向けて学生競技者諸君の一層 の精進と素晴らしい活躍を期待するとともに、関係 の皆様の倍旧のご理解、ご指導をお願い申し上げ、 新年のご挨拶といたします。

令和5年正月

あいさつ 1

公益社団法人 日本学生陸上競技連合 会報 第166号 (令和5年1月15日発行)

向上と進展

目 次

新年のご挨拶		1
【大会報告】		
第34回出雲全日本	大学選抜駅伝競走	3
第40回全日本大学	女子駅伝対校選手権大会	6
秩父宮賜杯第54回	1全日本大学駅伝対校選手権大会	9
2022全日本大学女	·子選抜駅伝競走	2
【会議報告】		
令和4年学生役員	[会議]	.5
第56回理事会 議事	事録	6
【報告等】		
2022年日本学生新	行記録章贈与式を開催	31
強化委員会・競技	変員会より	32
「陸上競技研究」	発行における令和3年度スポーツ振興くじ助成金の実施結果について3	33
	令和4年度スポーツ振興くじ助成金の実施予算について3	33
普通会員数報告…		34
賛助会員募集/入	.会報告/編集後記······	35

【大会報告】 第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走

常任幹事 安岡 あき実

1. 大会名:第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走

2. 大会期日: 2022年10月10日(祝·月)

3. 場 所: 島根·出雲市

出雲大社正面鳥居前~出雲ドーム前

4. エントリー数: 20 校

5. 大会総括

2022年10月10日(祝・月)、駅伝シーズンの幕開けとなる出雲全日本大学選抜駅伝競走が行われ、出雲大社正面鳥居前から出雲ドーム前までの全6区間45.1kmの出雲路を、全20チームが力強く駆け抜けました。前年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、無観客での開催となりましたが、3年ぶりに有観客での実施となり、少しずつではあるもののコロナ禍前の活気を取り戻しつつありました。有観客となった出雲路は、声を出しての声援はなくとも、観客の暖かい拍手に包まれました。

本大会に出場する多くの競技者がさまざまな競技会で活躍を魅せ、各大学の実力が拮抗するなか、どの大学が優勝を手にするかに注目が集まりました。

1区では中央大の吉居大和選手が後続を圧倒する 走りを見せ、区間賞を獲得しました。6区間の中で最 短区間であり、スピードが重要とされる2区では、6 人の選手が区間記録を更新しました。その中で、駒澤大の佐藤圭汰選手が区間賞を獲得し、首位に立ちました。続く3区では、前回も区間賞を獲得した創価大のフィリップ・ムルワ選手が区間新記録を更新して、2年連続で区間賞に輝きました。

4区以降は、2区でトップに浮上した駒澤大が安定した走りを見せて、首位をキープし、6区の鈴木芽吹選手に襷が渡ると、他校を寄せつけず優勝のフィニッシュテープを切りました。タイムは2時間8分32秒と、大会記録を33秒更新しての優勝でした。2位には4区で中西大翔選手が区間賞を獲得した國學院大が入り、全区間で安定した走りを見せた中央大が3位になりました。

本年も新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での開催となりましたが、無事に大会を開催することができましたのも、主催の出雲市、ご協賛いただいている富士通株式会社、ご協力いただいている出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会をはじめとする、多くの方々のご支援ご協力があってのことと深く感謝申しあげます。

来年度も素晴らしい大会となるよう日々邁進して 参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



3地区の学連選抜チームを含む 20チームが参加した

大会報告 3

向上と進展会報166.indd 3 2023/01/09 12:46





2019年の優勝以来の好成績となる2位を占めた國學院大。写真は4区区間賞の中西大翔(右)から5区・藤本竜への中継

9年ぶり出場の中央大が10年ぶり3位でフィンッシュ。1区・吉居大和(左)がトップで襷を渡し、勢いに乗せた。右は2区の千守倫央

青山学院大が4位。3区の 近藤幸太郎が一時2位に 押し上げた



前回 (7位) から1つ順 位を上げる6位に入っ た創価大。写真は3区 で区間新の快走をせ









前回初出場初優勝を 飾った東京国際大は8位でフィニッシュした。写真はアンカー・村松敬哲



3年ぶり出場の法政大が7 位に食い込む健闘を見せた。写真は5区区間3位と好走した小泉樹(左)からアンカー・稲毛崇斗への中継



向上と進展会報166.indd 4 2023/01/09 12:47

第34回出雲全日本大学選抜駅伝 成績

10月 10日(祝・月) 島根県・出雲大社正面鳥居前(勢溜)〜出雲ドーム 上段=総合成績 下段=区間成績 ●=大会新、区間新

750		, , , <u>~</u>	3124.31 1	1-4 1-90-13		10 IL/N ILI 20	. / (11.11.11)	נים בולפיינו	ш/ Щ	Z 1 Z		U =)	八云初、
チーム名		1 区 .0km)		2区 .8km)		3区 .5km)		4区 .2km)		5区 .4km)		6区 .2km)	総合成績 (45.1km)
	花尾	恭輔 (3)	佐藤	主汰(1)	田澤	廉 (4)	山野	力(4)	安原	太陽 (3)	鈴木	. zkiii) 芽吹 (3)	(43.1KIII)
①駒澤大	(2)	22.41	(1)	38.08	(1)	1.01.58	(1)	1.20.07	(1)	1.39.11	(1)	2.08.32	●2.08.32
			(1)	●15.27	(2)	23.50	(2)	18.09	(1)	19.04	(1)	29.21	
	青木	瑠郁(1)	山本	歩夢 (2)	平林	清澄 (2)	中西	大翔(4)	藤本	竜(4)		口賢造 (3)	2 00 24
②國學院大	(7)	22.58	(5) (6)	38.44 ●15.46	(6) (6)	1.02.50 24.06	(2)	1.20.40 17.50	(3)	1.39.56 19.16	(2)	2.09.24 29.28	2.09.24
	吉居	大和 (3)	千守	倫央(4)	中野	翔太(3)	阿部	陽樹 (2)	溜池	一太(1)	吉居	駿恭(1)	
③中央大	(1)	22.32	(2)	38.13	(3)	1.02.25	(3)	1.20.41	(2)	1.39.55	(3)	2.09.48	2.09.48
		107-L- (4)	(3)	●15.41	(7)	24.12	(3)	18.16	(2)	19.14	(4)	29.53	
④青山学院大	目片 (3)	将大(4) 22.45	横田 (4)	俊吾 (4) 38.27	近膝≐ (2)	を太郎 (4) 1.02.18	志貴 (4)	勇斗(3) 1.21.03	田中 (4)	悠登 (2) 1.40.33	中村 (4)	唯翔 (4) 2.10.18	2.10.18
也 有四十例人	(3)	22.43	(4)	●15.42	(3)	23.51	(6)	18.45	(6)	19.30	(3)	29.45	2.10.10
	野村	優作 (4)	三浦	龍司(3)		日達弥 (4)	油谷	航亮(2)	西澤	侑真(4)	四釜	峻佑 (4)	
⑤順天堂大	(5)	22.51	(3)	38.22	(4)	1.02.38	(5)	1.21.08	(6)	1.40.45	(5)	2.10.50	2.10.50
	新宏友	谷太郎 (4)	(2) 葛西	●15.31 潤(4)	(8)	24.16	(5) 石丸	18.30 惇那(1)	(7) 石井		(6)	30.05 雄大(4)	
⑥創価大	(10)	23.18	(7)	39.03	(5)	1.02.39	(7)	1.21.26	(7)	1.40.54	(6)	2.10.52	2.10.52
O 42 7 11-17 C	()		(5)	● 15.45	(1)	●23.36	(7)	18.47	(5)	19.28	(5)	29.58	
	松本	康汰 (4)	松永	伶 (3)	内田	隼太(4)	扇	育(4)	小泉	樹 (2)	稲毛	崇斗(3)	
⑦法政大	(6)	22.55	(8)	39.03	(7)	1.02.59	(6)	1.21.26	(5)	1.40.41	(7)	2.11.54 31.13	2.11.54
	富永	昌輝 (2)	<u>(9)</u> 白井	16.08 勇佑(2)	<u>(4)</u> 丹所	23.56 健(4)	(4) 川端	18.27 拳史(3)	(3) 堀畑	19.15 佳吾 (4)	(10) 村松	数哲 (3)	
⑧東京国際大	(8)	23.02	(9)	39.07	(8)	1.03.08	(8)	1.22.03	(8)	1.41.50	(8)	2.11.59	2.11.59
	` ´		(8)	16.05	(5)	24.01	(8)	18.55	(8)	19.47	(7)	30.09	
@+w/ I	児玉	悠輔 (4)	甲木	康博(2)	石田	洸介(2)	佐藤	真優 (3)	前田	義弘 (4)	吉田	周(2)	0.4005
⑨東洋大	(13)	23.31	(10) (7)	39.34 16.03	(10) (9)	1.04.12 24.38	(10) (11)	1.23.17 19.05	(9)	1.43.10 19.53	(9)	2.13.35 30.25	2.13.35
	守屋	和希 (3)	井手	翔琉 (4)	上田	<u> </u>	佐藤	良祐(3)	(9)	由伸(4)	中尾	心哉 (2)	
⑩関西学院大	(4)	22.50	(6)	38.58	(9)	1.04.03	(9)	1.23.05	(10)	1.43.10	(10)	2.14.27	2.14.27
	<u> </u>		(9)	16.08	(12)	25.05	(10)	19.02	(10)	20.05	(11)	31.17	
○女⇒↓ ○	藤本	雄大(1)	吉岡	尚紀(4)	福島	渉太 (2)	福田	翔(2)	山中	博生(2)	末次	海斗(3)	0.15.40
⑪帝京大	(15)	24.06	(13) (11)	40.21 16.15	(13) (10)	1.05.20 24.59	(11) (9)	1.24.17 18.57	(11) (11)	1.44.33 20.16	(11)	2.15.40 31.07	2.15.40
	大森	駿斗(2)	茶木	涼介(1)	山田	真生(4)	松嶋	陸(4)	清水	隼人(1)	山﨑	皓太(2)	
⑫立命館大	(12)	23.29	(12)	40.16	(11)	1.05.16	(13)	1.25.13	(13)	1.46.51	(12)	2.18.09	2.18.09
	W-F-	for the (a)	(14)	16.47	(11)	25.00	(17)	19.57	(19)	21.38	(12)	31.18	
③環太平洋大	谷末 (11)	智哉(1) 23.19	脇 (11)	健斗(3) 40.03	林本 (12)	涼(3) 1.05.18	松崎 (12)	寧生(1) 1.25.12	勝部 (12)	遼 (2) 1.45.56	杉原 (13)	健吾 (4) 2.18.13	2.18.13
砂垛 从十件八	(11)	23.13	(13)	16.44	(12)	25.15	(16)	19.54	(14)	20.44	(20)	32.17	2.10.13
	杉本	翔 (4)	井上	瑞貴 (3)	片山	蓮 (4)	新	博貴(1)	中角	航大(3)	島野	和志(3)	
④大阪経済大	(17)	24.11	(16)	41.04	(15)	1.06.34	(15)	1.26.17	(14)	1.46.56	(14)	2.18.19	2.18.19
	-C-E(I	昂太 (2)	(15)	16.53	(14)	25.30	(15)	19.43	(13)	20.39	(14)	31.23	
(15)皇學館大	毛利 (18)	24.23	(18)	晃太朗 (2) 41.26	矢田 (16)	大誠 (3) 1.07.12	見置 (17)	蓮音 (2) 1.26.46	曽越 (16)	大成 (2) 1.47.24	中川 (15)	雄斗(2) 2.18.44	2.18.44
○ 土于4日/へ	(10)	21.20	(16)	17.03	(16)	25.46	(13)	19.34	(12)	20.38	(13)	31.20	2.10.11
		・ラング (1)	山崎	樹羅 (2)	山田	陽翔(1)	佐藤	匠 (2)	西塚	璃純(1)	渡邊	隼翼(2)	
16北海道学連選抜	(星榜 (14)	É道都大) 23.58		学院大) 40.40	(札博 (14)	学院大) 1.06.20	(札勝 (14)	程学院大) 1.26.00	(札博 (15)	見学院大) 1.47.08	(札博 (16)	学院大) 2.18.51	2.18.51
	(14)	23.30	(14) (12)	16.42	(14)	25.40	(14)	19.40	(17)	21.08	(15)	31.43	
	亀田仁	二一路 (3)	嶋田	匠海(1)	大髙	肇 (4)	坂本	亘生(2)	谷村	恒晟(1)		童二郎 (4)	
@関西大	(16)	24.07	(17)	41.18	(18)	1.07.17	(16)	1.26.44	(17)	1.47.31	(17)	2.19.24	2.19.24
	۸ ما	-1 (4)	(19)	17.11	(17)	25.59	(12)	19.27	(15)	20.47	(17)	31.53	
18第一工科大	(9)	ンー (4) 23.14	金丸 (15)	翔星 (3) 40.50	大藪((17)	憂一郎 (1) 1.07.13	出水 (18)	愛翔 (1) 1.27.15	中村 (18)	凌也(1) 1.48.42	谷口 (18)	一希 (3) 2.20.42	2.20.42
(S) T11/	(3)	20.11	(20)	17.36	(18)	26.23	(18)	20.02	(18)	21.27	(18)	32.00	2.20.12
	松林	直亮 (3)	二宮	秀(M1)	渡邊	真大(2)	上甲	和樹 (2)	鈴木	聖矢(3)	久保E	日雄也 (4)	
⑲北信越学連選抜		州大)		弘大)		ī潟大)		州大)		到大) 1 40 00		(鴻大) 2 21 17	2.21.17
S 1, = 1, = 1 1, = 1, = 1, = 1	(19)	24.24	(19) (18)	41.32 17.08	(19) (19)	1.08.08 26.36	(19) (19)	1.28.14	(19) (16)	1.49.06 20.52	(19)	2.21.17 32.11	
	齋藤	颯希(1)	(10) 齋藤	陸杜(2)	菊地	彬(2)	田沼	怜(M2)	工藤	大介(4)	高橋	和人(4)	
20東北学連選抜	(東北	(学院大)	(東北	と福祉大)	(仙	(大)	(東	(北大)	(東	述大)	(山	形大)	2.26.09
シベル丁/走送](X	(20)	25.55	(20)	42.59	(20)	1.10.59	(20)	1.32.03	(20)	1.54.17	(20)	2.26.09	4.40.03
	IV S	ジュグナ	(17)	17.04 和希	(20) 相澤	28.00 見	(20)	21.04	(20) 安藤	22.14	(16)	31.52 ブニエル	青山学院大
										c ics EX.	1 0.2	· — — //	ᆸᆸᅼᄺ시
過去最高記録		・工業大)		学院大)		(洋大)		学院大)		学院大)		本大)	2.09.05

【大会報告】 第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会

常任幹事 山﨑 るな

1. 大 会 名: 第40回全日本大学女子駅伝対校選手 権大会

2.期 日: 2022年10月30日(日)

3.場 所: 宮城・仙台市 弘進ゴムアスリート パーク仙台〜仙台市役所前市民広場

4. エントリー数: 25 校 · 東北学連選抜チーム

5. 大会総括

2022年10月30日(日)、宮城県仙台市において第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会が開催されました。前回大会の上位7校、各地区学連の代表12校、5000m6名の記録上位6校、オープン参加の東北学連選抜を加えた計26チームが杜の都を走り抜けました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により行われていなかった応援団や沿道からの集団応援が3年ぶりに戻り、たくさんの声援のなかで大会を終えました。今大会では名城大学が大会史上初の6連覇を果たしました。

1区は名城大学のルーキー・米澤奈々香選手が学生初の駅伝とは思えぬ快走を見せ、区間賞を獲得しました。名城大学は2区以降も快走を続け、2区で石松愛朱加選手が2位との差を広げて首位を維持しました。続く3区の山本有真選手は21分37秒の区間タイ記録をマークし、4区の谷本七星選手は自身の持つ区間記録を23秒更新する15分14秒で走破しました。

5区では拓殖大の不破聖衣来選手が29分39秒と 圧巻の走りで2年連続の区間賞を獲得しました。それでも名城大の優位は揺るがず、最終6区では増渕 祐香選手が22分14秒と自身の持つ区間記録を更新 し、チームメイトや応援団の待つゴールへ飛び込み ました。

1区から安定した走りを見せた立命館大が2位。 3位に大阪学院大が続き、4位に大東文化大が入りました。5区で不破選手が怒涛の追い上げを見せた拓殖大が5位となり、8位までに入った日本体育大、城西大、関西大までが来年度のシード権を獲得しました。

また、本大会の上位12校が2022年12月30日(金)

に富士宮市~富士市にて開催される2022全日本大学 女子選抜駅伝競走の出場権を獲得しました。

昨年度に引き続き、例年とは異なる情勢下で、今 大会を無事に開催することができたのも、主催の読 売新聞社、共催の仙台市、特別協賛のスターツグルー プ、ご協賛いただいている関係各社、運営協力の東 北学生陸上競技連盟、宮城陸上競技協会、仙台市ス ポーツ振興事業団をはじめとする関係各位のご支 援、ご協力があってのことと、深く感謝しておりま す。来年以降も出場選手、運営側、観客の方々をはじ め、関わる皆様に希望を届けられるよう、より良い大 会を目指してがんばっていきたいと思っております。 今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいた します。





6連覇の金字塔を打ち立てた名城大はアンカーの増渕祐香が笑顔でフィニッシュした

6 大会報告



全員の力でつかんだ偉業。閉会式では両手で「6」を作り、写真に収まった

2区では1年生の石松愛朱加(左)が区間賞の力 走で首位をキープ。3区の副主将・山本有真が 区間タイの21分37秒の快走で優勝への流れを 確固たるものにした







2014年に並ぶ3位のフィニッシュテープを 切った大阪学院大のアンカー・鎌田幸来



5年連続2位だった大東文化大は4位でフィニッシュ。アンカーで主将の吉村玲美が区間4位で1人をかわした



4年連続シードとなる7位 4年建続ソートとなる7位 を占めた城西大。2区で ルーキーの兼子心晴が3 位に浮上と流れを作っ た。右は3区の伊藤柚葉





前回3位の拓殖大も2年連続入賞となる5位を 確保。写真は5区で2年連続区間賞に輝いた不 破聖衣来(右)からアンカー・片桐紫音への 力走した齋藤みう





2年ぶりのシード権 となる8位に入った 関西大。写真はア ンカー・近藤来那

大会報告 7

第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 成績2022年10月30日(日) 宮城・仙台市 弘進コムアスリートハーウ仙台-仙台市役所前市民広場 上段=通過タイム 下段=区間タイム ●=区間新 ▲=区間タイ チーム名 1区 2区 3区 4区 5区 6区 総合成績 (6.6km) (3.9km) (6.9km) (4.8km) (9.2km) (6.7km) (38.1km) 米澤奈々香(1) 石松愛朱加(1) 山本 有真(4) 谷本 七星(2) 小林 成美(4) 増渕 祐香(3)

チーム名	1区 (6.6km)	2区 (3.9km)	3区 (6.9km)	4 ⊠ (4.8km)	5区 (9.2km)	6区 (6.7km)	総合成績 (38.1km)
①名城大	米澤奈々香(1) (1) 21.09 (1) 21.09	石松愛朱加(1) (1) 33.28 (1) 12.19	山本 有真(4) (1) 55.05 (1) ▲21.37	谷本 七星(2) (1) 1.10.19 (1) ●15.14	小林 成美(4) (1) 1.41.07 (6) 30.48	増渕 祐香(3) (1) 2.03.11 (1) ●22.04	2.03.11
②立命館大	村松 結(1) (2) 21.28 (2) 21.28	柳井 綾音(1) (4) 34.18 (7) 12.50	村松 灯(2) (2) 56.37 (2) 22.19	外間 礼那(1) (2) 1.12.57 (4) 16.20	飛田 凜香(4) (2) 1.43.02 (2) 30.05	平岡 美帆 (4) (2) 2.05.42 (2) 22.40	2.05.42
③大阪学院大	依田 来巳(2) (13) 22.09 (13) 22.09	(4) 12.38	佐藤 千紘(3) (5) 57.24 (3) 22.37	野崎 光(4) (4) 1.13.28 (2) 16.04	永長 里緒(2) (3) 1.43.39 (3) 30.11	(5) 23.16	2.06.55
④大東文化大	川瀬 真由(1) (8) 21.48 (8) 21.48	上田 琴葉(1) (7) 34.45 (10) 12.57	四元 桃奈(2) (4) 57.22 (3) 22.37	藤原 唯奈(2) (5) 1.13.57 (9) 16.35	山賀 瑞穂(4) (5) 1.44.21 (4) 30.24	吉村 玲美(4) (4) 2.07.23 (4) 23.02	2.07.23
⑤拓殖大	牛 佳慧(4) (4) 21.43 (4) 21.43	(6) 12.45	土并 菜摘(3) (9) 58.13 (18) 23.45	門脇 奈穂(2) (7) 1.14.39 (6) 16.26	不破聖衣来(2) (4) 1.44.18 (1) 29.39	(4) 23.02 片桐 紫音(2) (5) 2.07.40 (6) 23.22	2.07.40
⑥日本体育大	山﨑 りさ(2) (3) 21.29 (3) 21.29	(3) 12.36	尾方 唯莉(2) (3) 57.04 (8) 22.59	黒田 澪(4) (3) 1.13.20 (3) 16.16	嶋田 桃子(2) (7) 1.45.23 (16) 32.03	(3) 22.42	2.08.05
⑦城西大	木村 桜華(2) (6) 21.46 (6) 21.46	(2) 12.28	伊藤 柚葉(3) (6) 57.40 (10) 23.26	福嶋 摩耶(4) (6) 1.14.05 (5) 16.25	髙橋 葵(1) (6) 1.44.59 (7) 30.54	(11) 23.32	2.08.31
8関西大	伐栗 夢七(2) (15) 22.21 (15) 22.21	(8) 12.55	磯野 美空(3) (8) 58.05 (6) 22.49	石松 空(2) (8) 1.14.43 (10) 16.38	飯島 果琳(3) (9) 1.46.37 (14) 31.54	近藤 来那(3) (8) 2.10.00 (7) 23.23	2.10.00
⑨福岡大	宮原なな佳(1) (12) 22.02 (12) 22.02	(5) 12.43	西園 萌花(1) (10) 58.23 (17) 23.38	德留 舞(2) (9) 1.14.50 (7) 16.27	末永 恋菜(2) (8) 1.46.28 (10) 31.38	(14) 23.37	2.10.05
⑩大阪芸術大	古賀 華実(4) (10) 21.56 (10) 21.56	(19) 13.23	北川 星瑠(3) (7) 58.01 (5) 22.42	菊地 結香(2) (10) 1.14.54 (15) 16.53	古原 夏音(3) (10) 1.46.47 (13) 31.53	(10) 23.30	2.10.17
⑪東京農業大	幸田 荫(2) (7) 21.48 (7) 21.48	(15) 13.10	坂口 愛和(3) (11) 58.25 (12) 23.27	浅田 遥香(4) (12) 1.15.36 (18) 17.11	川田 愛佳(3) (12) 1.47.00 (8) 31.24	(9) 23,27	2.10.27
⑫関西外国語大	三輪南菜子 (2) (14) 22.13 (14) 22.13	(18) 13.20	山岸みなみ(3) (15) 59.03 (14) 23.30	札場 美桜(1) (16) 1.16.11 (17) 17.08	矢尾 桃子(4) (11) 1.46.54 (5) 30.43	武田 芽依 (2) (12) 2.10.41 (18) 23.47	2.10.41
⑬東北福祉大	金澤 佳子(4) (5) 21.45 (5) 21.45	(11) 13.01	柴田 梨花(2) (13) 58.39 (20) 23.53	千葉 未来(1) (11) 1.15.24 (12) 16.45	武内わかな(4) (13) 1.47.06 (11) 31.42	(16) 23.39	2.10.45
⑭中央大	風間 歩佳(3) (17) 22.31 (17) 22.31	(13) 13.06	浜野 光(1) (16) 59.12 (16) 23.35	島貫恵梨子(2) (15) 1.15.53 (11) 16.41	加藤 礼菜(3) (14) 1.47.27 (9) 31.34	杉田久瑠美(3) (14) 2.11.02 (12) 23.35	2.11.02
⑤佛教大	久木 柚奈(4) (20) 22.45 (20) 22.45	(11) 13.01	前野 美優(1) (17) 59.13 (12) 23.27	清水ひなた (3) (13) 1.15.45 (8) 16.32	原田 萌花(4) (15) 1.48.01 (19) 32.16	高田 陽織 (2) (15) 2.12.06 (20) 24.05	2.12.06
16中京学院大	松本 七海(4) (18) 22.34 (18) 22.34	安藤みなみ (2) (19) 35.51 (17) 13.17	中村 柚音(1) (18) 59.17 (10) 23.26	丹戸 瑠梨(1) (18) 1.16.28 (18) 17.11	金子 藍(2) (16) 1.48.39 (17) 32.11	棚池 叶歩(2) (16) 2.12.16 (14) 23.37	2.12.16
⑰順天堂大	小野 汐音 (4) (16) 22.25 (16) 22.25	(16) 13.14	小暮 真緒(2) (12) 58.28 (6) 22.49	吉井 美咲(3) (14) 1.15.47 (21) 17.19	丹波 瑞希(2) (17) 1.48.58 (23) 33.11	垣内 瑞希(3) (17) 2.12.33 (12) 23.35	2.12.33
®筑波大	樫原 沙紀(3) (19) 22.42 (19) 22.42	(24) 13.51	(15) 23.33	市川 碧花(1) (19) 1.17.17 (18) 17.11	澤井 柚葉(3) (18) 1.48.59 (11) 31.42	本庄悠紀奈 (4) (18) 2.12.46 (18) 23.47	2.12.46
⑲玉川大	炭谷 綺乃(3) (11) 21.57 (11) 21.57	橋口 凜花(3) (11) 35.04 (14) 13.07	鈴木ひらり (3) (19) 59.52 (22) 24.48	滿谷 咲子(2) (20) 1.17.19 (24) 17.27	小林 遥香(3) (20) 1.49.30 (17) 32.11	(17) 23.44	2.13.14
②亜細亜大	菅谷 茉生(2) (21) 22.52 (21) 22.52	(20) 13.31	金并美凪海 (3) (21) 1.00.37 (21) 24.14	寺崎 梨華(3) (21) 1.17.29 (14) 16.52	髙橋 朱穂(2) (19) 1.49.23 (14) 31.54	(22) 24.29	2.13.52
②東洋大	渋谷 菜絵(1) (24) 23.46 (24) 23.46	(23) 13.48	佐竹 結衣(4) (23) 1.01.26 (19) 23.52	山口 莉理(3) (23) 1.18.28 (16) 17.02	中才 茉子(1) (23) 1.50.48 (20) 32.20	(8) 23.24	2.14.12
②京都光華女子大	溝内 里紗(4) (22) 23.15 (22) 23.15	谷口 萌優(2) (20) 36.11 (9) 12.56	渡辺 望美(2) (22) 1.00.59 (22) 24.48	藤田 百詠(2) (22) 1.17.49 (13) 16.50	吉村 唯(3) (22) 1.50.32 (21) 32.43	松浦 優夏(1) (22) 2.14.49 (21) 24.17	2.14.49
②新潟医療福祉大	清水 杏夏(1) (9) 21.48 (9) 21.48	(22) 13.47	保科 琴音(4) (14) 58.51 (9) 23.16	佐藤 晴奈 (3) (17) 1.16.12 (22) 17.21	鈴木こなつ(4) (21) 1.50.05 (24) 33.53	星 美月(1) (23) 2.15.20 (24) 25.15	2.15.20
@環太平洋大	小野理央奈 (4) (25) 24.35 (25) 24.35	江藤 咲(2) (24) 38.08 (21) 13.33	近江 香穂(1) (24) 1.03.20 (24) 25.12	正司 瑠奈(1) (24) 1.20.41 (22) 17.21	富田奈乃香 (1) (24) 1.53.40 (22) 32.59	小林 舞香(2) (24) 2.18.36 (23) 24.56	2.18.36
⑤札幌国際大	大西 世那(3) (23) 23.19 (23) 23.19	村雲 央佳 (M1) (25) 40.32 (26) 17.13	黒川 葉月(3) (25) 1.06.30 (25) 25.58	矢田目朱音 (4) (25) 1.25.39 (26) 19.09	張 (25) (25) (25) 35.37	濱田李佳子(3)	2.28.23
東北学連選抜(オープン)	髙橋 里奈(2) (石巻専修大) 25.00	髙木 環(1) (仙台大) 39.35	齋藤ひなた(3) (福島大) 1.05.44	大友万杏子(2) (福島大) 1.24.23	伊藤 千尋(2) (石巻専修大) 2.00.36	五十嵐千理 (2) (山形大) 2.26.59	2.26.59
過去最高記録	(26) 25.00 五島 莉乃 (中央大) 20.55(19年)		(26) 26.09 小林 成美 (名城大) 21.37 (20年)	(25) 18.39 谷本 七星 (名城大) 15.37 (21年)	(26) 36.13 不破聖衣来 (拓殖大) 28.00 (21年)	(25) 26.23 増渕 祐香 (名城大) 22.14 (21年)	名城大 2.02.57 (2020年)

8 大会報告

向上と進展会報166.indd 8 2023/01/09 12:47¹

【大会報告】

秋父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会

常任幹事 三浦 拓也

1. 大 会 名: 秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対

校選手権大会

2. 大会期日: 2022年11月6日(日)

3. 場 所:愛知県·熱田神宮西門前~三重県·

伊勢神宮内宮宇治橋前

4. エントリー数: 25 校・日本学連選抜チーム・東

海学連選抜チーム

5. 大会総括

秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会が2022年11月6日(日)に、熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前までの8区間106.8kmで行われました。素晴らしい晴天に恵まれ、全27チームが力強く伊勢路を駆け抜けました。

1区ではスタート直後から青山学院大の目片将大選手が勢いよく飛び出し、大東文化大のピーター・



ワンジル選手が追う展開となりました。最終的にはワンジル選手が残り1kmで逆転し、区間新記録でトップ中継を果たしました。2区では創価大の葛西潤選手と駒澤大の佐藤圭汰選手がハイレベルな戦いを繰り広げ、葛西選手が佐藤選手とわずか1秒差で抑えて襷リレーを行いました。ともに区間記録を更新する走りとなりました。

3区では東海大の石原翔太郎選手が全日本大学駅 伝では2年ぶりとなる区間賞を獲得し、ケガからの 復活を示しました。4区では駒澤大の山川拓馬選手 が区間賞を獲得し、2位以下のチームを引き離しま した。この区間では3大会連続で1年生による区間 賞獲得となりました。5区でも國學院大1年生の青 木瑠郁選手がチームを表彰台圏内に押し上げる快走 で区間賞を獲得しました。6区では中央大の吉居大 和選手が区間新記録の激走でチームをシード圏内に 押し上げました。

各校の実力者が集まった7区では駒澤大の田澤廉選手が従来の記録を43秒更新する圧倒的な区間新記録の走りで、優勝を決定づけました。駒澤大は8区でも花尾恭輔選手が区間賞でトップを守り抜き、3年連続15回目の優勝を果たしました。

区間新記録が4区間で誕生した超高速レースのなか、駒澤大は従来の大会記録を4分21秒も更新する 驚異的な大会新記録を樹立しました。また、大会M VPには3年連続で駒澤大の田澤選手が選出されま した。

年々注目が高まっている全日本大学駅伝から、2023年8月に行われるFISUワールドユニバーシティゲームズ(中国・成都)や2024年に迫っているパリ五輪に向けて世界に羽ばたく選手が現れることに期待しています。

今大会が無事に開催できたのはご支援、ご協力いただいている多くの方々によるものです。この大会がさらに発展し、陸上界の盛り上がりにつながるよう、今後ともよろしくお願いいたします。

駒澤大は中盤からトップを快走すると、7区の田澤廉(左)と8区の花尾恭輔 の連続区間営で3連覇に花を添えた

大会報告 9





駒澤大は2区でも1年生の佐滕圭汰か区間新 (区間2位)の力走を見せた

1年生ながら4区で区間賞を獲得した駒澤大の山川拓馬(左)から5区の篠原倖太朗への襷リレー



過去最高の2位でフィニッシュする國學院大の伊地知 賢造



3位を占めた青山学院 大。4区の横田俊吾(右) が区間トップと3秒差の 区間2位と好走。チーム は3位でフィニッシュした



4位の順天堂大は6区の西澤侑真が 従来の区間記録を3秒上回る区間2 位の好走で2位まで順位を上げた

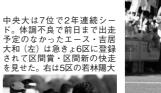
初出場の創価大は5位でシード権を獲得。2区の葛西潤(右)は5位から一気に首位に浮上して区間賞(区間新)を獲得した。左は3区の吉田凌



A Walley

早稲田大は前回と同じく6位。4 区では1年生の山口智規が区間3 位の好走で2位まで浮上した

前回連続シードが13でストップした東洋大は8位で2年ぶりシード校へ返り咲き。 写真はアンカーの柏優吾







10 大会報告

向上と進展会報166.indd 10 2023/01/09 12:47

秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会 成績

2022年11月6日(日) 愛知県・三重県 熱田神宮西門前~伊勢神宮内宮宇治橋前 上段=総合成績 下段=区間成績 ●=大会新、区間新

			心ハロハコスノ	C 1 JE/(1		上段=総	台放領 下段三区	間放領 ■=大会	新、区間新
チーム名	1区 (9.5km)	2区 (11.1km)	3⊠ (11.9km)	4 ⊠ (11.8km)	5区 (12.4km)	6区 (12.8km)	7区 (17.6km)	8区 (19.7km)	総合成績 (106.8km)
①駒澤大	円 健介(4) (4) 27.17 (4) 27.17	佐藤 圭汰(1) (2) 58.30 (2) ●31.13	(1) 1.32.31	山川 拓馬(1) (1) 2.06.12 (1) 33.41	篠原倖太朗(2) (1) 2.42.12 (2) 36.00	安原 太陽(3) (1) 3.19.39 (4) 37.27	田澤 廉(4) (1) 4.09.17 (1) ●49.38		●5.06.47
②國學院大	島崎 慎愛(4) (17) 27.45 (18) 27.45	山本 歩夢(2) (7) 59.43 (7) 31.58	中西 大翔 (4) (6) 1.33.56	藤本 竜(4) (4) 2.08.00	青木 瑠郁(1) (2) 2.43.50	坂本 健悟(4) (3) 3.21.37	平林 清澄(2) (3) 4.12.35 (4) 50.58	伊地知賢造(3)	•5.10.08
③青山学院大	目片 将大(4) (2) 27.08 (2) 27.08	自石 光星(2) (13) 1.00.40 (16) 33.32	佐藤 一世(3) (11) 1.34.32	横田 俊吾(4) (5) 2.08.16 (2) 33.44	岸本 大紀(4) (6) 2.44.31	中村 唯翔 (4) (4) 3.21.52 (3) 37.21	近藤幸太郎(4) (2) 4.11.44 (2) •49.52	宮坂 大器(4)	● 5.10.45
④順天堂大	平 (11) 製介(4) 27.25	三浦 龍司(3) (3) 58.52	野村 優作(4) (2) 1.33.09	石并 一希(3) (3) 2.07.22	海老澤憲伸(2) (5) 2.44.28	西澤 侑真(4) (2) 3.21.37	伊豫田達弥 (4) (4) 4.13.01	四釜 峻佑(4) (4) 5.10.46	●5.10.46
⑤創価大	(12) 27.25 横山 魁哉(4) (5) 27.17 (5) 27.17	(3) 31.27 葛西 潤(4) (1) 58.29 (1) ●31.12	吉田 凌(2) (4) 1.33.27	(5) 34.13 石丸 惇那(1) (6) 2.08.18 (11) 34.51	嶋津 雄大(4)	(2) ●37.09 新家裕太郎(4) (5) 3.22.25 (7) 37.57	(6) 51.24 P.ムルワ(4) (5) 4.13.02 (3) 50.37	(3) 57.45 山森 龍暁(3) (5) 5.12.10 (11) 59.08	5.12.10
⑥早稲田大	間瀬田純平(1) (10) 27.24 (11) 27.24	井川 龍人(4) (6) 59.13 (6) 31.49	石塚 陽士(2) (3) 1.33.12	山口 智規(1) (2) 2.07.13 (3) 34.01	小指 卓也(4)	菖蒲 敦司(3) (8) 3.23.28 (15) 38.58	伊藤 大志(2) (7) 4.14.41 (5) 51.18	佐藤 航希(3) (6) 5.12.53 (5) 58.12	5.12.53
⑦中央大	千守 倫央(4) (3) 27.13 (3) 27.13	山平 怜生(2)	吉居 駿恭(1) (10) 1.34.32		若林 陽大(4)	吉居 大和(3) (6) 3.22.46 (1) ●37.01		阿部 陽樹 (2) (7) 5.13.03 (8) 58.38	5.13.03
⑧東洋大	奥山 輝(3) (14) 27.33 (15) 27.33		児玉 悠輔(4) (9) 1.34.27	前田 義弘(4) (8) 2.08.51 (6) 34.24	九嶋 恵舜(3) (7) 2.45.26 (5) 36.35	村上 太一(3) (7) 3.23.07 (5) 37.41	梅崎 蓮(2) (8) 4.14.42 (7) 51.35	柏 優吾(4) (8) 5.13.10 (7) 58.28	5.13.10
⑨明治大	森下 翔太(1) (8) 27.19 (8) 27.19	児玉 真輝(3) (4) 58.54 (4) 31.35	(5) 1.33.53	小澤 大輝(4) (7) 2.08.30 (8) 34.37		吉川 響(1) (9) 3.23.57 (7) 37.57	富田 峻平(4) (9) 4.15.33 (8) 51.36	尾﨑 健斗(2) (9) 5.15.29 (15) 59.56	5.15.29
⑩東海大	花岡 寿哉(1) (7) 27.18 (7) 27.18	梶谷 優斗(2) (15) 1.00.54 (18) 33.36	石原翔太郎(3) (12) 1.34.42 (1) 33.48	川上 勇士(4) (13) 2.09.58 (15) 35.16	佐藤 俊輔(4) (11) 2.46.41 (8) 36.43	宇留田竜希 (4) (12) 3.25.02 (10) 38.21	松崎 咲人(4) (10) 4.17.07 (11) 52.05	竹村 拓真(4) (10) 5.16.01 (9) 58.54	5.16.01
⑪東京国際大	冨永 昌輝(2) (15) 27.41 (16) 27.41	(8) 59.49 (8) 32.08	(8) 1.34.24 (11) 34.35	宗像 聖(4) (11) 2.09.24 (13) 35.00	(13) 2.46.52 (12) 37.28	(13) 3.25.39 (13) 38.47	村松 敬哲 (3) (13) 4.18.27 (12) 52.48	L.ムセンビ(4) (11) 5.16.41 (6) 58.14	5.16.41
⑫神奈川大	有村 祐亮 (4) (12) 27.26 (13) 27.26	(12) 33.00	(16) 1.35.36 (16) 35.10	小林 政澄(3) (14) 2.10.04 (7) 34.28	(15) 37.44	(14) 38.54	山﨑 諒介(4) (12) 4.18.18 (8) 51.36	小林 篤貴(3) (12) 5.17.30 (12) 59.12	5.17.30
③中央学院大	小島 慎也(4) (6) 27.17 (6) 27.17	(5) 59.02 (5) 31.45	(7) 1.34.02 (15) 35.00	松島 匠(4) (9) 2.08.55 (12) 34.53	川田 啓仁(4) (8) 2.45.32 (7) 36.37	(10) 3.24.30 (15) 38.58	荻沼 直人(4) (11) 4.18.02 (13) 53.32	安藤 武留(2) (13) 5.17.56 (13) 59.54	5.17.56
⑭大東文化大	P.ワンジル(2) (1) 26.58 (1) ●26.58	菊地 駿介(3) (10) 1.00.01 (13) 33.03	(14) 1.34.59	久保田 徹(3) (12) 2.09.45 (10) 34.46	大野 陽人(4) (12) 2.46.51 (9) 37.06	大谷 章紘(2) (11) 3.24.55 (9) 38.04	谷口 辰熙(4) (14) 4.19.00 (14) 54.05	西代 雄豪(2) (14) 5.19.07 (16) 1.00.07	5.19.07
⑤日本大	下尾 悠真(3) (16) 27.42 (17) 27.42	西村 翔太(3) (16) 1.00.57 (14) 33.15	C.ドゥング(4) (15) 1.35.19 (9) 34.22	安藤 風羽(2) (15) 2.10.48 (17) 35.29	大仲 竜平(1) (15) 2.49.07 (18) 38.19		中澤 星音(1) (15) 4.22.19 (18) 54.41	若山 岳(4) (15) 5.22.54 (18) 1.00.35	5.22.54
⑯関西学院大	井手 翔琉(4) (9) 27.23 (10) 27.23	(14) 1.00.44 (15) 33.21	(13) 1.34.44 (4) 34.00	岡田 晃成(2) (16) 2.11.28 (22) 36.44	(16) 2.49.48 (19) 38.20	(16) 3.30.46 (21) 40.58	今井 由伸(4) (16) 4.25.58 (21) 55.12	守屋 和希(3) (16) 5.25.53 (14) 59.55	5.25.53
⑰大阪経済大	片山 蓮(4) (20) 28.06 (21) 28.06	(21) 33.50	(18) 1.38.03 (19) 36.07	(14) 35.15	(17) 2.51.04 (16) 37.46	(25) 41.26	中角 航大(3) (17) 4.26.45 (15) 54.15	島野 和志(3) (17) 5.27.14 (17) 1.00.29	5.27.14
®立命館大	大森 駿斗(2) (13) 27.26 (14) 27.26	茶木 涼介(1) (17) 1.01.10 (19) 33.44	(17) 1.36.45 (17) 35.35	安東 竜平(4) (17) 2.12.34 (18) 35.49	(18) 2.51.55 (23) 39.21	(17) 3.31.46 (20) 39.51	中田千太郎 (2) (18) 4.26.48 (19) 55.02	山﨑 皓太(2) (18) 5.28.00 (20) 1.01.12	5.28.00
⑨札幌学院大	山崎 樹羅 (2) (21) 28.08 (22) 28.08	佐藤 匠(2) (21) 1.02.22 (23) 34.14	(20) 1.38.25 (18) 36.03	大柳 達哉(3) (19) 2.14.30 (20) 36.05	(21) 38.54	(17) 39.07	渡邊 隼翼 (2) (19) 4.27.10 (17) 54.39	浅水 優人(2) (19) 5.32.17 (25) 1.05.07	5.32.17
②愛知工業大	苅谷真之介(3) (22) 28.20 (24) 28.20	(18) 1.01.54 (17) 33.34	(19) 1.38.20 (21) 36.26	(25) 37.11	(21) 2.54.13 (20) 38.42	(21) 3.35.13 (22) 41.00	(20) 55.09	渡邉 大誠(4) (20) 5.32.42 (23) 1.02.20 花井 秀輔(4)	
②皇學館大	山田 奏楽(2) (23) 28.32 (25) 28.32	(23) 1.03.36 (25) 35.04	(23) 36.51	(22) 2.16.20 (19) 35.53	(20) 2.54.01 (14) 37.41	(20) 3.33.41 (19) 39.40	(21) 4.31.09 (25) 57.28	(21) 5.33.26 (22) 1.02.17	5.33.26
②環太平洋大	谷末 智哉(1) (18) 28.06 (19) 28.06	(20) 1.01.59 (22) 33.53	(22) 1.40.10 (26) 38.11	(23) 2.17.20 (24) 37.10	(23) 2.58.17 (27) 40.57	(23) 41.09	(23) 4.35.19 (22) 55.53	(22) 5.37.03 (21) 1.01.44	5.37.03
②第一工科大	A.サレー(4) (19) 28.06 (20) 28.06	(24) 34.29	(21) 1.39.07 (22) 36.32	(21) 2.15.53 (23) 36.46	(22) 2.55.08 (22) 39.15	(22) 3.36.47 (26) 41.39	大藪優一郎(1) (22) 4.35.10 (26) 58.23	(23) 5.41.41 (27) 1.06.31	5.41.41
29新潟大	久保田雄也(4) (24) 29.57 (26) 29.57	(24) 1.05.24 (26) 35.27	(24) 1.43.12 (25) 37.48	(27) 38.20	(24) 3.01.49 (25) 40.17	(24) 3.43.05 (24) 41.16	(23) 56.28	(24) 5.43.18 (24) 1.03.45	5.43.18
②東北大	薮下 温司 (M1) (25) 31.25 (27) 31.25	田沼 怜(M2) (25) 1.07.43 (27) 36.18	鳥山 拓実(2) (25) 1.47.28 (27) 39.45	木村 秀(6) (25) 2.25.33 (26) 38.05	安本 尚生(2) (25) 3.05.26 (24) 39.53	(25) 3.47.44 (27) 42.18	向田 祐翔(2) (25) 4.47.08 (27) 59.24	工藤 大介(4) (25) 5.53.01 (26) 1.05.53	5.53.01
日本学連選抜(オープン)	亀田仁一路(3) (関西大) 27.21 (9) 27.21	(専修大) 1.00.16 (10) 32.55	(京都産業大) 1.36.41 (20) 36.25	(広島経済大) 2.12.01 (16) 35.20	(福岡大) 2.49.50	(信州大) 3.28.57 (17) 39.07	(福岡大) 4.23.32 (16) 54.35	中山 雄太(4) (日本薬科大) 5.21.35 (4) 58.03	5.21.35
東海学連選抜(オープン)	鈴木 雄登(4) (中京大) 28.12	河﨑 憲祐(3) (名古屋大) 1.02.00	中尾 啓哉 (4) (岐阜協立大) 1.39.03	浅井 駿良(2) (中部大) 2.15.39	吉原 諒(2) (名古屋大) 2.55.58	小渕 稜央(3) (岐阜大) 3.34.32	村松 俊哉 (4) (岐阜協立大) 4.31.12	森川 陽之(M1) (名古屋大) 5.31.50	5.31.50
過去最高記録	(23) 28.12 佐藤条二(駒澤大) 吉居大和(中央大) 27.05(21年)	(20) 33.48 伊藤 達彦 (東京国際大) 31.17(19年)	(24) 37.03 Y.ヴィンセント (東京国際大) 32.46(21年)	(21) 36.36 石原翔太郎 (東海大) 33.16(20年)	(26) 40.19 佐藤 一世 (青山学院大) 35.47(20年)	(12) 38.34 丹所 健 (東京国際大) 37.12(21年)	(24) 56.40 P.M.ワンブイ (日本大) 50.21(18年)	(19) 1.00.38 M.J.モゲス (山梨学院大) 55.32(07年)	駒澤大 5.11.08 (2020年)

大会報告 11

【大会報告】 2022全日本大学女子選抜駅伝競走

常任幹事 横川 侑香

1. 大 会 名: 2022 全日本大学女子選抜駅伝競走

2. 大会期日: 2022年12月30日(金)

所:静岡·富士市/富士宮市 富士山本

宮浅間大社前~富士総合運動公園陸

上競技場

4. エントリー数: 22 校・全日本大学選抜チーム・

静岡県学生選抜チーム 計24チーム

5. 大会総括

2022年12月30日(金)、1年を締めくくる駅伝大 会である2022全日本大学女子選抜駅伝競走(2022富 士山女子駅伝)が、静岡県の富士宮市・富士山本宮 浅間大社前から富士市・富士総合運動公園陸上競技 場までの7区間43.4kmで行われました。第40回全日 本大学女子駅伝の上位12校、5000mのタイムから選 考された10校に全日本大学選抜チームと静岡県学生 選抜チームを加えた計24チームが今年度も日本一を 決めるにふさわしい激闘を繰り広げました。

今大会で5連覇を目指す名城大が完全優勝を果た すのか、関西学生対校女子駅伝で優勝を成し遂げた 立命館大や、全日本大学女子駅伝で8年ぶりに表彰 台にのぼった大阪学院大が名城大の連覇を阻止する かに注目が集まりました。

1区では1年生の名城大・柳樂あずみ選手が上級 生を押さえ区間賞を獲得しました。2区では立命館 大の村松灯選手、大阪芸術大の北川星瑠選手がそれ ぞれ10人抜きの好走を見せ、北川選手が前回に続き

2年連続で区間賞を獲得し ました。3区では名城大の 米澤奈々香選手が会心の走 りで区間新記録を樹立しま した。続く4区でも名城大 の増渕祐香選手が区間賞を 獲得し、後続との差をさら

各大学のエースが集う5

区では名城大の山本有真選手が4年連続となる区間 賞を獲得しました。また、立命館大の飛田凜香選手 と関西大の磯野美空選手が7人を抜きチームを入賞 圏内に押し上げました。6区では区間記録に迫る走 りを見せた日本体育大の嶋田桃子選手が区間賞を獲 得し、トップを独走していた名城大との差を詰めま した。高低差169mを駆け上がる7区では名城大の 谷本七星選手が大学駅伝で4度目の区間賞を獲得 し、チームは1度も首位を譲ることなく5回目の優 勝を果たし、強さを見せつけました。

2位には6区野崎光選手、7区佐藤千紘選手が力 走を見せた大阪学院大が入りました。日本体育大が 2年連続で3位と健闘し、要所で強さをみせた全日 本大学選抜が4位に入りました。以下、5位立命館 大、6位大東文化大、7位城西大、8位関西大と続き、 入賞を果たしました。また、静岡県の中学・高校出身 の選手で構成された静岡県学生選抜チームは24位と なってしまったものの、地元の大声援を後押しに、 レースを沸かせました。

2022年の日本学連主催競技会はこの大会をもって 終了いたしました。トラック&フィールドや駅伝大 会では、多くの好記録、名勝負が生まれた1年でし た。多くの国際大会が開催される2023年も多くの皆 様のご支援・ご協力を賜りながら、日本学生陸上界 の向上と進展のためにより一層の努力をしていく所 存でありますので、何卒よろしくお願いいたします。

に引き離しました。

名城大が5年連続で全日本大学 駅伝との2冠を達成した



12 大会報告

向上と進展会報166.indd 12 2023/01/09 12:47



名城大はアンカーの谷本七星が [5] を掲げてフィニッシュテープを切った



5区から6区の中継ではこれまでチームを牽引してきた山本有真(右)と小林成美の4年生同士の襷リレーが行われた

3位に入った日本体育大、6区の 嶋田桃子が区間賞を獲得するな ど終盤まで2位をひた走った



大阪学院大が過去最高タイの2位。6区区間2位と好走した 野崎光(左)から佐藤千紘へ。佐藤は区間3位で2人を抜いた

大東文化大は6位。1区・吉村 玲美、7区に山賀瑞穂(写 真)と4年生が後輩たちを挟むオーダーで、山賀は11位か 城西大は3区の髙橋葵が区間2位タイで4人 をかわし、4区では3位に浮上。その後は順 位を落としたものの7位でフィニッシュした





全日本大学選抜が4位フィニッシュ。7区途中まで3位と健闘し、アンカーの古西亜海(明治国際医療大)をメンバーが出迎えた



立命館大は1区が当日変更もあり、24位でのスタートとなったが、5位まで順位を押し上げた。5区の主将・飛田凜香が区間2位で福永楓花へと襷をつ



8位は関西大。エースの磯野美空が5区区間 3位で7人抜きを披露した



大会報告 13

向上と進展会報166.indd 13 2023/01/09 12:47

2022全日本大学女子選抜駅伝競走 成績

2022年12月30日(金) 静岡県富士市/富士宮市・富士山本宮浅間大社前-富士総合運動公園陸上競技場 上段=通過タイム、下段=区間タイム ●=区間新

						上段一理廻タイプ	ム、ト段=区間タイ	
チーム名	1区 (4.1km)	2区 (6.8km)	3⊠ (3.3km)	4⊠ (4.4km)	5区 (10.5km)	6区 (6km)	7区 (8.3km)	総合成績 (43.4km)
①名城大	柳樂あずみ① (1) 12.4		米澤奈々香① (1) 44.08		山本 有真④ (1) 1.32.22 (1) 34.05			2.21.56
②大阪学院大	鎌田 幸来① (6) 13.0	が (5) (7) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	小林舞妃留② (6) 45.20	山下 彩菜① (4) 59.54	永長 里緒② (4) 1.35.15 (5) 35.21	野崎 光④ (4) 1.55.09	佐藤 千紘③ (2) 2.25.07	2.25.07
③日本体育大	柳井 桜子① (2) 12.5) 山﨑 りさ②	保坂 晴子③ (2) 44.51	齋藤 みう② (2) 59.19	尾方 唯莉② (2) 1.34.50 (6) 35.31	嶋田 桃子② (2) 1.54.25	赤堀かりん④ (3) 2.25.21	2.25.21
④全日本大学選抜	中澤咲絵子(1 (駿河台大) (5) 13.0	堀 綾花③ (神戸学院大)	逸見 亜優④ (京都産業大) (3) 45.09	保科 琴音④ (新潟医療福祉大) (5) 59.59	小松 優衣④ (松山大)	長岡 あず② (兵庫大) (3) 1.54.58		2.25.39
⑤立命館大	柳井 綾音① (24) 14.2) 村松 灯②	土屋 舞琴① (13) 46.19	宮澤 実亜① (12) 1.01.05	飛田 凜香④ (5) 1.35.28 (2) 34.23	福永 楓花② (5) 1.55.37	平岡 美帆④ (5) 2.26.28	2.26.28
⑥大東文化大	吉村 玲美(4) 12.5	藤原 唯奈②	川島 琴美3 (7) 45.28	上田 琴葉① (9) 1.00.41	川瀬 真由① (11) 1.37.13 (15) 36.32	鈴木日菜子② (11) 1.57.36	山賀 瑞穂④ (6) 2.27.40	2.27.40
⑦城西大	兼子 心晴① (4) 13.0	渡辺 光美④	髙橋 葵① (4) 45.12	村上 礼乃③ (3) 59.49	伊藤 柚葉③ (8) 1.36.20 (14) 36.31	福嶋 摩耶④ (8) 1.57.04	藤村 華純④ (7) 2.27.47	2.27.47
8関西大	木下 茜④ (8) 13.0) 石松 空②	池﨑 萌絵① (14) 46.21	岩本 風音① (13) 1.01.09	機野 美空③ (6) 1.35.54 (3) 34.45	有田茉合香① (6) 1.56.42	近藤 来那③ (8) 2.27.50	2.27.50
⑨拓殖大	古澤日菜向① (13) 13.2	牛 佳慧④	池主 茉弥① (9) 45.41	山田 愛① (8) 1.00.24	門脇 奈穂② (12) 1.37.28 (19) 37.04	近藤 萌子② (12) 1.57.58	新井 沙希① (9) 2.27.50	2.27.50
⑩大阪芸術大	日吉 鈴菜(4 (17) 13.4	北川 星瑠③	中尾 伽音② (8) 45.33	菊地 結香② (7) 1.00.19	古原 夏音③ (9) 1.37.08 (18) 36.49	鈴木 杏奈③ (9) 1.57.23	古賀 華実④ (10) 2.28.09	2.28.09
⑪東北福祉大	矢内 楓恋② (7) 13.0	金澤 佳子④	平藤 楠菜① (5) 45.15	小松 莉菜④ (6) 1.00.13	武内わかな④ (7) 1.36.19 (8) 36.06	中根 美咲④ (7) 1.56.56	千葉 未来①	2.28.32
⑫順天堂大	石引 稚菜① (18) 13.4	小野 汐音④		二川 彩香④ (14) 1.01.12	小暮 真緒② (10) 1.37.09 (7) 35.57	垣内 瑞希③ (10) 1.57.33	丹羽 瑞希②	2.29.05
⑬中央大	木下 紗耶① (12) 13.2) 浜野 光①	南 日向① 46.14	島貫恵梨子② (16) 1.01.25	加藤 礼菜③	会田 佳世③ (13) 1.58.01	杉田久瑠美③ (13) 2.29.45 (18) 31.44	2.29.45
④関西外国語大	札場 美桜① (21) 14.0) 山岸みなみ③	佐藤 桜子② (23) 47.26	清水 萌楓③ (22) 1.02.35	三輪南菜子② (19) 1.38.49 (9) 36.14	武田 芽依② (17) 1.59.37	矢尾 桃子④ (14) 2.29.50	2.29.50
⑮玉川大	橋口 凜花③ (19) 13.4	炭谷 綺乃③	藤田 仁乃② (15) 46.22	小林 遥香③ (10) 1.00.52	金原 千尋② (13) 1.37.32 (16) 36.40	和田 帆香③ 2 (14) 1.58.34	藤村 優李② (15) 2.30.33	2.30.33
16 亜細亜大	菅谷 茉生② (9) 13.0	寺崎 梨華③	河嶋菜々子③ (18) 46.30	沖 (19) 1.01.35	髙橋 朱穂②	金井美凪海③ (15) 1.58.57	髙橋華瑠亜① (16) 2.30.38	2.30.38
⑪東京農業大	浅田 遥香(4) (22) 14.1	幸田 萌②	廣田 彩香④ (22) 46.55	池田香名子④ (23) 1.02.40	坂口 愛和③ (21) 1.39.26 (17) 36.46	西山 英莉① (22) 2.00.40	川田 愛佳③	2.31.04
⑱福岡大	黒石 瑠香(4) (23) 14.	末永 恋菜②	德留 第2 (19) 46.33	西園 萌花① (20) 1.01.36	宮原なな佳① (15) 1.37.56	山口 遥③ (16) 1.59.34	戸倉 瑛菜② (18) 2.31.54	2.31.54
⑩京都光華女子大	谷口 萌優② (15) 13.3	溝内 里紗④	来問 美月① (21) 46.48	藤田 百詠② (18) 1.01.34	渡辺 望美② (22) 1.39.35	吉村 唯③ (21) 2.00.40	松浦 優夏① (19) 2.32.21	2.32.21
②東洋大	萩原 結② (10) 13.2	江口 春姫②	渋谷 菜絵① (16) 46.24	佐竹 結衣④ (11) 1.00.55	中才 茉子①	3 (19) 2.00.03	立迫 望美③ (20) 2.32.28	2.32.28
②佛教大	国本 陽菜② (14) 13.2) 久木 柚奈④	石田 遥花① (17) 46.27	前野 美優① (15) 1.01.23	清水ひなた③ (20) 1.39.10	井本 彩文① (20) 2.00.34	高田 陽織② (21) 2.33.02	2.33.02
②筑波大	市川 碧花① (11) 13.2	小松 夕夏①	川島 実桜② (12) 46.16	山下 真奈① (17) 1.01.32	澤井 柚葉③	樫原 沙紀③ 2 (23) 2.01.35	本庄悠紀奈④ (22) 2.33.05	2.33.05
②中京学院大	丹戸 瑠梨① (16) 13.4	中村 柚音①	安藤みなみ② (20) 46.38	具志堅佑奈② (21) 1.01.58	金子 藍② (17) 1.38.25	渡邉 葵① (18) 1.59.47	長見 杏華④ (23) 2.34.35	2.34.35
④静岡県学生選抜	袴田 華帆④ (大阪学院大 (20) 13.5	鬼頭このみ② (順天堂大)	滝澤かんな (順天堂大) (24) 48.45	山田 葵② (日本福祉大) (24) 1.04.43	渡邉 香澄④ (京都産業大) (24) 1.43.31	眞田ひかる① (亜細亜大) (24) 2.05.31	石野 帆奈① (東大阪大) (24) 2.39.02	2.39.02
過去最高記録	高見澤安珠 (松山大) 12.42(16年)	五島莉乃·和田有菜 (中央大·名城大) 20.40(19年·20年)	御﨑 舞 (立命館大)	山本 有真 (名城大) 13.55(19年)	不破聖衣来 (拓殖大) 32.23(21年)	増渕祐香・飛田凜香 (名城大・立命館大) 19.31(20年・21年)	小林 成美 (名城大)	名城大 2.21.38 (2020年)

14 大会報告

向上と進展会報166.indd 14 2023/01/09 12:47

公益社団法人日本学生陸上競技連合

和4年学生役員会議

副幹事長 﨑井 優希菜

期 日:2022年12月17日(土)12:05~13:20 場 所: TKP新宿カンファレンスセンター カンファレンスルーム

各地区学連の新幹部役員が集い、恒例の学生役員 会議が開催されました。本連合の年度末は3月31日 ですが、4年生学生役員の活動は、後輩への引き継 ぎの関係で基本的に12月31日をもって終了となりま す。会議では、令和5年2月~4月に行う大会や事務 関係の研修が行われました。

また、例年理事会後に行われる理事・学生等を交 えた役員懇親会はコロナウイルス感染症対策のため 中止となりましたが、2年ぶりに卒業生を送る会を 執り行いました。出席していた卒業予定の学生役員 に記念品が贈られ、令和4年度日本学連幹事長を務 めた公文幹事長には記念品のクリス

タルが贈呈されました。一人ひとりか ら学連活動を通した思い出などが述 べられ、盛会の内に終了致しました。

【会議報告】

1. 令和5年の学生役員について

次年度4年生の﨑井優希菜が幹事 長に推薦され、理事会に提案される こととなりました。

(令和5年学生役員一覧は理事会資料 として別項掲載)

2. 事務手続きについて

年度始めに必要な正会員の名簿や、 各地区学連に書類提出を依頼しまし

3. 令和5年2~4月の日本学連主 催・共催大会について

来年2~4月に行われる日本学連 主催・共催競技会5大会について、 エントリー等の事務作業についての 説明を行いました。

4. 普通会員登録について

基本の学連登録作業に加え、ス ポーツ安全保険の適用についての説 ※連合役員経験者・地区三役経験者

明を行いました。登録会員を一人も取りこぼすこと がないように登録業務のルールの厳守と正確さを改 めて確認しました。

5. 公認競技会申請及び記録公認申請について

2月に締切となる来年度最初の公認競技会申請に ついて、申請方法の周知や注意事項の徹底を促すと ともに、記録の電子申請などを中心に、公認競技会 申請及び記録公認申請の全体的な流れを確認しまし

2023年から始まるWRKへの申請の紹介があり、 申請の条件を確認いたしました。

公益社団法人日本学生陸上競技連合 卒業学生役員一覧(2022年)

	平未于土仗其一見 (2022 年)								
No.	В	名	日本学連役職	地区学連役職	所属大学				
1	公文	こころ	2022年幹事長 2021年副幹事長 2020~2019年常任幹事		横浜市立大学				
2	橋本	怜奈	2021年常任幹事		宮城教育大学				
3	伊藤	舞	2022年常任幹事		愛知淑徳大学				
4	鈴木	大	2021年幹事	2021年北海道学連幹事長	北海道大学				
5	下條	源太郎		2021年北海道学連会計	北海道大学				
6	板垣	克	2021年幹事	2021年東北学連幹事長	東北大学				
7	児玉	健太		2021年東北学連会計	東北大学				
8	高橋	花奈	2022年幹事 2021年幹事	2022年関東学連幹事長	日本大学				
9	小川	果梨	2022年幹事		帝京大学				
10	内山	響生	2021年幹事	2021年北信越学連幹事長	信州大学				
11	金川	朋暉		2021年北信越学連会計	信州大学				
12	八谷	隆太郎	2022年幹事 2021年幹事	2022年東海学連幹事長	愛知教育大学				
13	山本	悠生	2022年幹事	2022年東海学連会計	名古屋大学				
14	髙重	広	2022年幹事 2021年幹事	2022年関西学連幹事長	京都大学				
15	村上	琴未	2022年幹事	2022年関西学連会計	関西大学				
16	中薗	映児	2021年幹事	2021年中国四国学連幹事長	広島大学				
17	有富	大智		2021年中国四国学連会計	広島大学				
18	和田	歩美	2021年幹事	2021年九州学連幹事長	西南学院大学				
19	近藤	銀河		2021年九州学連会計	九州大学				

公益社団法人日本学生陸上競技連合 第56回理事会 議事録

1. 開催された日時

令和4年12月17日(土)14時15分から16時58分

2. 開催された場所

TKP新宿カンファレンスセンター5E

3. 理事総数及び定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 19名

(出 席)有吉 正博、植田 恭史、小倉 幸雄、 片平 誠人、蒲原 一之、北井 敏雄、 木下 澄雄、工藤 洋治、障子 恵、 杉山 喜一、関根 春幸、鶴崎 健一、 永井 純、長澤 光雄、日隈 広至、 福島 洋樹、松本 正之、安井 年文、 山下 誠

(出席監事) 細萓 智大、山本 俊樹

(欠 席) 岡崎 朋美、黒須 雅弘、小林 聖子 (オブザーバー) 岡田 晃、河野 匠、羽田 雄一

5. 議 題

【協議事項】

第1号議案:本年度普通会員について

第2号議案: 第92回(2023)·第93回(2024)日本 I

Cについて

第3号議案:令和5年度主要事業日程案について

第4号議案:普通会員の資格に関する規程改定につ

いて

・令和5年度新登録システムについて

第5号議案:各主催駅伝における留学生の扱いにつ

いて

第6号議案:FISUワールドユニバーシティゲームズ

(成都) について

・選考要項・基幹役員・2023日本学生 個人選手権大会要項・標準記録

・男子ハーフマラソン選手権大会要項

・女子ハーフマラソン選手権大会要項

· 日本学生競歩選手権大会要項

第7号議案:令和5年学生役員候補者について

第8号議案:その他

【報告事項】

①会務報告について

②各主催駅伝大会について(来年度出場枠他)

- 第35回出雲駅伝
- 第41回全日本大学女子駅伝
- 第55回全日本大学駅伝
- 2022 富士山女子駅伝【出場校】
- ③第68回指導者会議について
- ④第63回実業団・学生対抗陸上について
- ⑤WRK申請について
- ⑥その他

6. 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認

会に先立ち、大西清司事務局長が定足数の充足を 確認した。

(2) 議長及び議事録署名人の選出

松本正之会長が議長となり、本会議の開会を宣した。議事録署名人は定款33条に基づき、松本正之会長、有吉正博副会長、細萱智大監事、山本俊樹監事となった。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

第1号議案:本年度普通会員について

永井純専務理事より、資料に基づき本年度普通会員を承認することについて提案があった。11月30日現在18904名の登録となっている。本年は20000名を目標にしていたので、昨年より登録者が減った学連については次回の理事会で原因を報告してもらいたい。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第2号議案: 第92回(2023)・第93回(2024)日本I Cについて(資料なし)

永井純専務理事と大西清司事務局長より、第92回・ 第93回日本ICについて提案があった。

第92回大会について日産スタジアムを使用するために横浜市役所市民局やJリーグ事務所と打ち合わせを持ったが、最終的に日本陸連主催競技会(小学生陸上)が9月開催へ移動となり、優先順位の存在があるため断念。熊谷市での開催に向けて調整を開始し、埼玉陸協の協力を得ることができたことから、2023年9月14日(木)~17日(日)の開催にて進めた

11

2024年、第93回大会については、等々力陸上競技場がサッカー専用に作り替える前の最後の利用として日本インカレを開催したいと神奈川陸協より打診を受けている。旧国立競技場が使用できなくなって以来、関東と地方で交互に開催しているが、これは特に決まりではなく、2年連続で関東開催となることもご理解いただき、開催に向けた準備に入りたい。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

この際、以下の通り意見があった。

(日隈広至理事) 例年、日本インカレの最終日に次回 大会の会場と日程をアナウンスして閉会となってい るが、本年は間に合わずそれがなかったため、次回 以降は是非とも間に合わせていただけるよう調整を していただきたい。

(永井純専務理事)できるだけ早急に決定したい。

第3号議案:令和5年度主要事業日程案について

永井純専務理事より、資料に基づき令和5年度主 要事業日程の承認について提案があった。

2023個人選手権は4月21日~23日とし、開催が再び延期となったFISUワールドユニバーシティゲームズ(成都)(以下WUG)の予選会を兼ねる。実学対抗は例年開催する時期に世界大会等が目白押しで調整が難航したが、7月1日で実業団連合と合意ができた。また、カテゴリーFからカテゴリーEにランクを上げ、グランプリシリーズとする予定である。第92回日本インカレは9月14日夕方~17日の3.5日間開催とする。4つの駅伝及び3月のハーフマラソンと競歩は例年通りの時期に開催する。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第4号議案:普通会員の資格に関する規程改定について/令和5年度新登録システムについて

大西清司事務局長より、資料に基づき「普通会員の 資格に関する規程」改定の承認について提案があった。

現状、日本学連の普通会員は都道府県陸上競技協会(以下、陸協)を必ず登録しなければならないが来 年度からは陸協登録が任意となる。

12月8日の日本陸連理事会では既に承認されており、今回の理事会で承認されれば2023年度の登録より運用される。

令和5年度新登録システムについては日本陸連に おいて急ピッチで準備が進められており、登録料の 支払方法や大学生の陸協登録について大きく変更がある。新システムは3月1日にオープン予定、マニュアルは1月下旬に展開予定とのことだが、準備期間が短く、学連としてしっかり対応しなければならないと考えている。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

この際、以下の通り補足・質疑応答があった。 (植田恭史理事)大学生は地区学連に登録したら自動 的に日本学連にも登録されるのか。

(大西清司事務局長)登録希望者を地区学連が承認 し、日本学連に登録されるという流れになる。

(植田恭史理事) 学生の登録料は合計でいくらくらい になるか。

(大西清司事務局長)各地区で設定している分担金や各地区陸協の登録料がそれぞれ異なり、一人一人の登録料はわからない。

(木下澄雄理事) 大学生の日本陸連登録料1000円というのは暫定であったはずだが、今後ずっと1000円か。 (大西清司事務局長)2023年度は1000円であるが、2024年度以降は現状不明である。

(木下澄雄理事) クレジットカードが使用可能とあるが、陸上部でクレジットカードを使用することがあるだろうか。

(大西清司事務局長) クレジットカードは個人登録の 人は使用することがあるかもしれないが、大学生に おいては陸上部で取りまとめて支払いまでするもの と想定している。

第5号議案:各主催駅伝における留学生の扱いにつ いて

永井純専務理事と工藤洋治常務理事より、資料に基づき「本連合主催の駅伝大会に関する規約」を承認することについて提案があった。

今まで外国人留学生の駅伝の出場について「エントリーは2名まで、出場は1名とする」ということが暗黙の了解となっていたが、監督の世代交代に伴って明文化が必要と考え、弁護士である工藤理事や外部理事の協力を得てこの規約を作成した。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事賛成多数で可決した。

この議案の審議においては、多くの出席理事から 質疑応答があった。(会報での詳細報告はスペースの 関係で割愛)

第6号議案: FISU ワールドユニバーシティゲームズ (成都) について

永井純専務理事及び山下強化委員長より、次の各 選考競技会の要項について提案があった。

- 選考要項 · 基幹役員
- 2023日本学生個人選手権大会要項/標準記録
- 男子ハーフマラソン選手権大会要項
- 女子ハーフマラソン選手権大会要項
- 日本学生競歩選手権大会要項

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

この際、下記の通り質疑応答があった。

個人選手権の混成種目が7000円への値上げについては複数の理事から要検討との意見が出たため、審議の結果、5000円とした。

第7号議案:令和5年学生役員候補者について

永井純専務理事より、資料に基づき令和5年度学 生役員候補者の承認ついて提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

第8号議案:その他

永井純専務理事より日本陸連への派遣役員(理事、 評議員)及び日本陸連令和4年度功労章と秩父宮章 の推薦依頼があったことについて、例年、会長・副会 長・専務理事で協議をして人選をしているため、今 回も一任していただきたい旨の提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理 事全員一致で可決した。

【報告事項】

①会務報告について

永井専務理事より、資料に基づき前回理事会以降 の職務報告について報告があった。

出雲駅伝、大学女子駅伝、大学駅伝がつつがなく 終了した。この後すぐ12月30日に富士山女子駅伝 が開催されるにあたって準備中である。

- 障子恵総務委員長:日本ICでは入場ブースが分かりにくいなどの課題があった。また撮影関係では素人でできることには限界があり、今後も皆様の意見を取り入れながらやっていきたい。
- 山下誠強化委員長:標準記録の決定に当たってブロック長に各ブロックの意見をまとめたもらった うえで全体会を開催するようにした。

関根春幸競技委員長:競技中のトラブルについては 次回以降同じことが起こらないよう情報共有して いる。次年度以降に向けてメール等で問題点の修 正や競技会開催について情報共有を行っている。

- ②各主催駅伝大会について(出場枠他) 永井純専務理事より、資料に基づき各主催駅伝に ついて報告があった。
- ③第68回指導者会議について

永井純専務理事より、資料に基づき第68回指導者会議について報告があった。第68回指導者会議は過去2回のコンプライアンス研修会の内容を踏襲しつつ、応用として「大学陸上競技指導者に求められる資質および能力を考える」をテーマに開催いる。弁護士である工藤洋治理事から助言を受けたり、演者に快く引き受けてもらったりして、準備を進めているところである。

- ④第63回実業団・学生対抗陸上について 関根春幸常務理事より実学対抗をグランプリシ リーズにグレードを上げることについて報告が あった。
- 植田恭史理事:実学対抗はいい競技会であるが、観客が少なすぎると感じている。過去に観客を増やす策として中学生リレーを採用したが、会場のある平塚市の条例で中学生は18時に帰宅しなければならないため、20時に終了する大会としてはあまり観客増につながらなかった。
- ⑤WRK申請について

関根春幸常務理事よりWRK申請について報告があった。1月~3月開催の大会については学連で申し込みを受け付けて申請を始めている。

- ⑥ その他
- ○大西清司事務局長より、第91回日本ICの収支報告があった。

入場料の値上げ等が奏功し、収入約2800万円、支 出約3000万円となり200万円程度の赤字で収める ことができた。参考までに無観客で行った新潟は 約1200万円赤字、熊谷では約1300万円赤字であっ た。

○永井純専務理事より、第94回日本 I C(2025年) 開催について報告があった。

2025年開催の東京/世界陸上が9月13日から開催されることとなり、この年の日本ICの開催時期や開催場所についてこれから検討する必要がある。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時 58分、議長は閉会を宣し、解散した。

資料1 2023年度 日本学連関連競技会・主要会議日程(案)

令和4年12月17日現在

◯◯は日本学連主催競技会

年	月	日	事業名	会場
		16日(日)	出雲陸上競技大会	出雲市(島根)
		21日(金)~23日(日)	2023日本学生陸上競技個人選手権大会/WUG選考会	平塚市
	4月	24日(月)	理事会(WUG選考)	リモート
		22日(土) ~23日(日)	兵庫リレーカーニバル	神戸市
		29日(土)	織田幹雄記念国際陸上競技大会	広島市
		3日(水/祝)	静岡国際陸上競技大会	袋井市(静岡)
	5月	20日(土)暫定	理事会(定時)	東京/又はリモート
		21日(土)予定	ゴールデングランプリ陸上	横浜市(予定)
		1日(木)~4日(日)	第107回日本陸上競技選手権/U20日本選手権	大阪市
	6月	10日(土)~11日(日)	第107回日本選手権混成/U20日本選手権	秋田市
	0月	10日(土)暫定	第14回定時社員総会/理事会	東京/又はリモート
		25日(日)	布勢スプリント 2023	鳥取市
		1日(土)	秩父宮賜杯第63回実業団・学生対抗陸上競技大会 (2023オールスターナイト陸上)	レモンガススタジアム 平塚 (神奈川)
2023	7月	12日(水)~16日(日)	アジア陸上競技選手権大会	パタヤ/タイ
年		7/28(金) ~ 8/8 (火) 陸上: (8/1 ~ 8/6)	FISU ワールドユニバーシティゲームズ (成都)	四川省/成都
	0 0	2日(水)~6日(日)	全国高校陸上	北海道
	8月	19日(土) ~ 27日(日)	World Athletics Championships 2023	ブダペスト
		14日(木)	理事会(定時)	熊谷市
	9月	14日(木)~17日(日)	天皇賜盃第92回日本学生陸上競技対校選手権大会	熊谷市
		9/23 (土) ~10/8 (日)	第19回アジア大会	中国/杭州
		13日(金) ~17日(火)	特別国民体育大会	鹿児島県
	10月	9日(月/祝=スポーツの日)	第35回出雲全日本大学選抜駅伝競走	出雲市(島根)
	10月	中旬	箱根駅伝予選会	立川市(東京)
		29日(日)	第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	仙台市(宮城)
	11月	5日(日)	秩父宮賜杯第55回全日本大学駅伝対校選手権大会	名古屋/伊勢
		10日(日)	第107回日本陸上競技選手権10000 m	調整中
	12月	16日(土)暫定	理事会(定時)	東京/又はリモート
		30日(土)	2023全日本大学女子選抜駅伝競走	富士市/富士宮市
		1日(金)~2日(土)暫定	幹部役員研修会	東京(暫定)
		2日(土)暫定	理事会(定時)	東京(暫定)
2024	3月	2日(土)暫定	第69回指導者会議	東京(暫定)
2024 年	0/1	10日(日)予定	第27回日本学生ハーフマラソン選手権大会	立川市(東京)
		17日(日)	第18回日本学生20km競歩選手権大会	能美市(石川)
		17日(日)予定	第27回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	松江市(島根)
		3月又は4月	FISU2024ワールドユニバーシティチャンピオンシップ・クロスカントリー	Muscat (OMA)

【地区インカレ情報】

北海道IC:未定 北信越 I C:5月13日~14日(新潟市営で調整中) 東海IC:5月26日~28日(岐阜市で調整中)

中国四国 I C: 5月19日~21日(シティライトで調整中) 西日本 I C:6月16日~18日(岐阜市で調整中)

東北IC:6月9日~11日(北上で調整中) 関東IC:5月11日~14日(相模原で調整中) 関西 I C: 5月23日~27日(長居で調整中) 九州 I C: 5月5日~7日(久留米で調整中) 北日本 I C:8月10日~12日(宮城野)

会議報告 19

向上と進展会報166.indd 19 2023/01/09 12:47

現行規定

(位置づけ)

第5条 普通会員は、この法人への入会手続きを完了することによって、日本陸連登録会員となる。また、同時に、次項により選択する日本陸連加盟団体である都道府県陸上競技協会(以下、「陸協」という。)登録会員となる。

- 2 普通会員は、陸協のうち、次の各号の要件を満たす陸協を1つ選択する。
 - (1) 卒業した中学校、卒業した義務教育学校又は前期課程修了時まで在籍した中等教育学校の所在地がある都道府県の陸協
 - (2) 卒業した高等学校、卒業した中等教育学校又は3年次まで在籍した高等専門学校の所在地がある都道府県の陸協
 - (3) 在籍している学部・学科等の所在地にある陸協
 - (4)住居地にある陸協

改定案

(位置づけ)

第5条 普通会員は、この法人への入会手続きを完了することによって、日本陸連登録会員となる。また、同時に、次項により選択する日本陸連加盟団体である都道府県陸上競技協会(以下、「陸協」という。)登録会員となる。

- 2 普通会員が日本陸連加盟団体である都道府県陸上競技協会(以下、「陸協」という。)に登録する場合は、次の各号の要件を満たす陸協を 1つ選択し、登録することができる。
 - (1) 卒業した中学校、卒業した義務教育学校又は前期課程修了時まで在籍した中等教育学校の所在地がある都道府県の陸協
 - (2) 卒業した高等学校、卒業した中等教育学校又は3年次まで在籍 した高等専門学校の所在地がある都道府県の陸協
 - (3) 在籍している学部・学科等の所在地にある陸協
 - (4)住居地にある陸協

(経緯)と(今後の流れ)

- 1. 日本陸連、日本学連総務委員会、事務局で改訂を検討。
- 2. 2022年12月8日(木)開催の日本陸連理事会にて承認
- 3. 2022年12月17日(土)開催の日本学連理事会へ提案
- 4. 2023年度の登録より運用
- 4. 2022年度の登録より運用

資料3 2023年度の登録手続きについて(概要) 〈12/2 日本陸上競技連盟〉抜粋

JAAF新システムの運用について、地区学連登録担当者等と講習会を実施し、周知できるよう計画中

1. 登録システムの変更

従来の登録システム (JAAF-START) から新システムに移行します。新システムはDNPが提供するシステムを本連盟用に一部カスタマイズして使用します。DNPのシステム2は、すでにハンドボール協会、ホッケー協会などの使用実績があります。

新システムで新しくできるようになる主なポイントは、下記のとおりです。

【個人のページができます】

旧システムではシステムの操作は、団体の連絡責任者のみが 行うために、会員個人は、自分の氏名や生年月日など自分の 情報がどのように登録されているかがわかるようにはなって いませんでした。

新システムでは、従来のように学校の顧問の先生や団体の連絡責任者が登録作業を行いながら、自分の情報がどのように登録されているかを確認、修正できるようになります。これにより、プログラムを作成した際の氏名の修正などの軽減が期待されます。

また記録の集計をこれまでの陸上競技マガジンへの委託から、陸連独自への集計に移行することにより、個人のマイページで記録情報が閲覧できるようにしていきます(記録集計に関して、2023年度はテスト運用とし、24年度からの本格運用を目指しています)。

小中学生がシステムにログインして個人のページを作る場合は、システムの利用規約への同意が発生することから、保護者の方がその作業を行っていただくのが良いと考えています。

ご高齢の方などでインターネットを使った手続きができない 方は、従来どおり団体管理者による登録が可能です。

【登録料の支払がシステムで行えます】

登録料の支払いをシステム上で行うことができるようになります。支払いは、クレジットカード、コンビニエンスストアでの支払いが可能になります。これにより会員の利便性が向上するとともに、都道府県陸協での入金確認作業が軽減されます。

また支払い証明書が画面で表示されるようにいなりますので、各都道府県陸協などで領収書を発行することが不要になります。

団体・個人がシステムで支払うと、決済代行会社が取りまとめて、日本陸連分、県陸協分などに分割し、毎月定期的(1~3回/月)に指定の口座に振り込んでくれます。

このサービスを使用するために、決済手数料が必要になります。決済手数料は支払いを行う者が、支払い時に支払う料金に応じた金額を同時に支払うことになります。決済手数料は、一人当たりの登録料に応じて加算され、登録料一人当たりの金額が2,000円までは150円、1万円までは230円、1万円以上は4.1%が加算され、その合計を支払いいただきます。

上記ができるように、各都道府県の登録料についてお問い合わせをさせていただいております。ご協力をお願い致します。なお初期に設定するために情報の提供をお願いしておりますが、設定後は各都道府県で自由に変更が可能です。

【今後様々なサービスを追加していきます】

新システムでは、審判講習会の募集、集金、受付をおこなう ことや、物販をおこなうことも可能になります。これらについ ては新年度登録が開始し、運用が安定してきましたら、改め てその方法についてお伝えします。

またeラーニングの導入なども検討しており、随時機能を追加していく予定です。

2. 登録料について

2023年度の登録料については、現状維持となりました。前述しましたように新しく小学生も料金が設定されました。それに応じて料金の考え方が登録の種類に応じた金額から、年齢に応じた金額に変更になります。

中断

日本陸連登録料

当該年度末で19歳以上の者当該年度末で19歳未満の者

1,000円/人 500円/人

3. 大学生の登録について

従来、大学生の登録の際に都道府県陸協を選択する必要が ありましたが、マネージャーなど運営にしか関わらない学生

20 会議報告

向上と進展会報166.indd 20 2023/01/09 12:47

や、大学の記録会にしか出場しない学生もいることから、都道府県を選択しないことも認めることになりました。都道府県を選択しない学生が競技会に参加した場合、所属の標記は「○○大・学連」という表記になります。その場合県の記録にはならない扱いで考えています。

※各都道府県陸協主催の大会に大学生が参加する場合、登録を要件とする場合は、参加資格にその旨(例:参加資格 2023年度日本陸連登録者で、○○陸協登録者であることなど)が明記される予定。

大学生の登録のフローとして、

①大学から学連に登録する。②そのあとに各人で各都道府県

陸協に登録申請をする手順。

※各都道府県で学連登録の大学生向けの料金を設定する場合、その分だけをシステムで支払うことが可能。

※陸連登録料は学連に登録する際に徴収。

その他

- •新システムのオープン時期は3月1日を予定。
- 新登録システムでの手続きの方法について 新システムに関して、現在本連盟用に開発中。画面イメージを 使用した詳細な手続方法に関して記載したマニュアルは、1月 末をめどに作成し改めて通知。現在決定している内容をもと に、手続き方法の概要が示される予定。

資料 4 本連合主催の駅伝大会に関する規約(案)

第1条(本連合主催の駅伝大会)

1 公益社団法人日本学生陸上競技連合(以下「本連合」という。) 主催の駅伝大会は、以下の4大会(男子2大会、女子2 大会)とする。

(男子)全日本大学駅伝対校選手権大会

出雲全日本大学選抜駅伝競走

(女子)全日本大学女子駅伝対校選手権大会

全日本大学女子選抜駅伝競走

2 本連合が主催する駅伝大会は、本規約に定める事項のほか、各大会ごとに定める開催要項に従って行う。

第2条(全日本大学駅伝対校選手権大会)

全日本大学駅伝対校選手権大会は、開催日を11月第1日曜日、スタート地点を熱田神宮正門前、ゴール地点を伊勢神宮内宮宇治橋前とし、以下の区間構成によって行う。

(8区間 合計106.8km)

第1区 9.5km

第2区 11.1km

第3区 11.9km

第4区 11.8km

第5区 12.4km

第6区 12.8km

第7区 17.6km

第8区 19.7km

第3条(出雲全日本大学選抜駅伝競走)

出雲全日本大学選抜駅伝競走は、開催日をスポーツの日、開催場所を出雲市とし、以下の区間構成によって行う。

(6区間 合計45.1km)

第1区 8.0km

第2区 5.8km

第3区 8.5km

第4区 6.2km

第5区 6.4km

第6区 10.2km

第4条(全日本大学女子駅伝対校選手権大会)

全日本大学女子駅伝対校選手権大会は、開催日を10月最終日曜日、開催場所を仙台市とし、以下の区間構成によって行う。

(6区間 合計38.1km)

第1区 6.6km

第2区 3.9km

第3区 6.9km

第4区 4.8km

第5区 9.2km

第6区 6.7km

第5条(全日本大学女子選抜駅伝競走)

全日本大学女子選抜駅伝競走は、開催日を12月30日、開催場所を富士市及び富士宮市とし、以下の区間構成によって行う。

(7区間 合計43.4km)

第1区 4.1km

第2区 6.8km

第3区 3.3km

第4区 4.4km

第5区 10.5km

第6区 6.0km 第7区 8.3km

第6条(外国人留学生)

- 1 本規約に定める駅伝大会における外国人留学生選手の起 用は、各参加チームごとに、予選会及び本選ともに、エント リーは2名まで、出場は1名までとする。
- 2 前項にいう「外国人留学生選手」とは、留学ビザで入国資格 を得ている本連合加盟校所属の登録競技者を指すものと し、日本に永住又は定住が認められている外国人は対象外 であり、何らこの本条に基づく規制を受けるものではない。
- 3 各加盟校においては、外国人留学生選手について、駅伝大 会等における勝敗の観点に偏重することなく、学生として の学業、日常生活、卒業後の進路等にも十分に配慮をして、 指導・育成を行うものとする。

第7条 (規約の変更)

本規約の変更(各回限りの変更を含む。)は、理事会の決議を もって行う。

附目

この規約は令和4年12月17日から施行する(令和4年12月 17日理事会決議)

会議報告 21

向上と進展会報166.indd 21 2023/01/09 12:47

資料5 FISUワールドユニバーシティゲームズ(成都) 日本代表選手選考について

◆日本学生陸上競技連合 (以下、日本学連) としての選考基本 方針

FISUワールドユニバーシティゲームズ競技大会(成都)(以下、本大会)の選手団編成方針は、 日本オリンピック委員会(JOC)が定めた派遣枠を基に、本大会でメダル獲得または入賞が期待される競技者を選考し編成する。

◆大会日程 (開催地)

2023年7月28日~8月8日(中国、成都市) <陸上競技8月1日~8月6日>

I. 選考競技会

- 1. ハーフマラソン 第26回日本学生ハーフマラソン選手権 大会(東京都・立川市) 2023年3月12日 第26回日本 学生女子ハーフマラソン選手権大会(島根県・松江市) 2023年3月19日
- 競歩 第17回日本学生20km競歩選手権大会(石川県・能 美市) 2023年3月19日
 - ※ハーフマラソン・競歩については、出場者のうち2023 年度日本学連普通会員登録を予定されている者が選考 対象となる。
- 3. 上記以外の種目 2023年日本学生個人選手権大会(*) (神奈川県・平塚市) 2023年4月21日~23日
 - ※男女10000m・男女混成競技の選考競技会を、同大会 内において実施する。

Ⅱ. 選考方法

【基本条件】

日本国籍を有しFISU(世界大学スポーツ連盟)が定める 基本条件等を満たし、かつ、2023年度日本学連普通会員登録を している競技者を選考対象とする(日本学連・普通会員の資格 に関する規程参照)。ただし、日本国籍を有し海外の大学に留 学をしている場合は日本学連普通会員登録がなくても選考対 象とする。

*選手の参加年齢条件は、FISUが定める18歳~27歳(2023年末時点。1996年1月1日から2005年12月31日の間に生まれた者。)である

【選考基準】

- 1. 以下(1)(2)の条件をいずれも満たした者を選考対象者とする。なお、選考対象者の中から下記2・3に従いさらに選考をするので、以下(1)(2)の条件を満たした場合でも代表選手となるとは限らないことに留意されたい。
 - (1)派遣標準記録有効期間内に、派遣標準記録(表1)を 突破すること。ただし、リレー種目について、メダル 獲得可能性、関連する個人種目の選考状況、他のリ レーの編成等を踏まえてリレーチームの編成・派遣 を決定する場合は、個人としては(1)の条件を満た していない競技者を選考対象者に加え、代表選手と することがある。
 - (2) 前記 I の選考競技会において 8 位以上に入賞(※) す
 - (※)長距離種目および競歩については、前記基本条件を満たす者のうち上位8名以上とする。ただし、以下①②のいずれかに該当する場合は、(2)の条件を要しないものとする。
 - ①既に(1)の条件を満たしている者が、WA関連の国際大会等または日本陸連の派遣大会に出場するため選考競技会に出場できない場合で、選考競技会のエントリー締切日の1週間前までに日本学連に指定の書式でその旨を届け出て、承認を得た場合。
 - ②日本国籍を有し海外の大学に留学をしている者が、 同一種目の他の選考対象者よりも高い記録で(1)の 条件を満たし、かつ、本人が2023年3月末日までに本

大会への出場を希望する旨を日本学連に伝えた場合。 注) 男女ハーフマラソンおよび男子競歩については、過 去の団体成績を踏まえ、選考競技会終了時点で上位

3名を代表選手に内定した上で、他種目を含めた全体選考の際に、追加選考の有無を決定する。

2. 同一種目において選考対象者が複数いる場合は、選考競技会において順位が上位の者を優先する。ただし、同一種目において、上記1(2)本文に基づく選考対象者と、同ただし書きに基づく選考対象者とがいる場合は、上記1(1)の突破記録等を勘案して、メダル獲得または入賞の可能性の観点から優先順位を決定する。

- 3. JOCから陸上競技に割り当てられた全体の派遣枠数に達するまで、全種目の選考対象者の中から、本大会においてより上位を獲得することが期待される競技者から順に、代表選手として選考する。なお、各種目のエントリー人数の上限はFISUの規定により、男女ハーフマラソンおよび男女競歩は最大5名、男女10000mは最大3名、他の種目は1種目2名以内と定められている。ある種目の代表選手となった競技者が、別種目について上記1の条件を満たしていないものの当該別種目でもメダル獲得または入賞が期待されるときには、当該別種目にもエントリーする場合がある。また、上記の手順により代表選手の選考を行った結果、全体の派遣枠数に達しなかった場合に、上記1の条件を満たさないものの本大会において入賞が期待される競技者がいるときは、当該競技者を代表選手として選考することができるものとする。
- 4. 代表選手は、日本学連の理事会の承認を経て、JOC理事会にて正式決定する。

Ⅲ. 標準記録有効期間

	派遣標準記録 有効期間 (男子・女子共通)
ハーフマラソン(男子)	2022年1月1日~2023年3月12日
ハーフマラソン (女子)	2022年1月1日~2023年3月19日
競歩	2022年1月1日~2023年3月19日
一般種目(上記以外)	2022年1月1日~2023年4月23日

Ⅳ. その他

- 1. 代表選手として決定した後でも本大会までに故障などのために競技力を十分に発揮できないと強化委員会が判断した場合には代表を取り消す。その場合に、エントリー締切り前であるときは、別の競技者(同一種目とは限らない。)を代表選手として追加選考することがある。
- 2. 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。また、代替の選考競技会の設定が困難な場合は、理事会の決定により、他の選考方法によって選考する場合がある。
- 3. 今後、FISUによってワールドユニバーシティゲーム ズの開催条件や参加資格等に関する変更があった場合 は、選考方法を変更する場合がある。
- 4. 天災、その他の理由で本大会が延期となった場合は、内 定を取り消す場合がある。
- 5. 代表選手には日本・中国の出入国に関しコロナワクチンを一定回数以上接種していることが義務付けられる可能性がある。

(参考:JOCの派遣方針)

日本代表選手は原則として現役大学生として、将来オリンピック等国際大会で活躍が期待できる者として推薦された中から選考する。

22 会議報告

向上と進展会報166.indd 22 2023/01/09 12:47

表1 FISUWUG(成都)派遣標準記録

男子	種目	女子
10.30	100m	11. 55
20.85	200m	23.65
46. 45	400m	52.35
1. 48. 20	800m	2. 03. 20
3. 43. 00	1500m	4. 20. 00
13. 40. 00	5000m	15. 50. 00
28. 30. 00	10000m	33. 20. 00
1:04.00	ハーフマラソン	1:16.00
_	100mH	13.40
13. 75	110m H	_
49. 95	400m H	57.60
8.40.00	3000m S C	10.05.00
1:25.00	20 k mW	1:36.00
	4×100mR	
	4×400mR	
2. 20	走高跳	1.83
5. 30	棒高跳	4. 25
7.75	走幅跳	6. 25
16. 30	三段跳	13. 25
19. 40	砲丸投	16.70
59.00	円盤投	54.00
72.00	ハンマー投	64.00
77.00	やり投	56.00
_	七種競技	5500
7300	十種競技	_

※過去3大会の6位相当平均(日本学生ランキング10位相当が これを上回る場合は当該記録)を目安に設定

別表① FISUの設定するエントリー資格記録

2.4.intry standards

The entry standards for all events must be achieved between 1 January 2021 and the closing date for the submission of Individual Entries

Event	Men	Women	Event	Men	Women
Track events (tim	es in hh:mm:	ss.ms)	Field events	(measure i	in m.cm)
100m	10.60	12.00	High jump	2.15	1.70
200m	21.85	25.10	Pole vault	5.10	3.55
400m	49.00	56.00	Long jump	7.30	5.95
800m	1:51.00	2:10.00	Triple jump	15.00	12.80
1500m	3:50.00	4:31.00	Shot put	16.50	13.50
5000m	14:45.00	17:30.00	Discus	55.00	48.00
10000m	30:00.00	35:00.00	Hammer	60.00	59.00
20km walk	1:28:00	1:43:00	Javelin	72.00	48.00
Half marathon	1:10:00	1:22:00	Heptathlon		N/A
100/110m hurdles	14.00	13.45	Decathlon	N/A	
400m hurdles	53.00	63.05			
3000m steenlechase	9:00:00	11:00.00	1		

N/A - Non-Applicable for the Chengdu 2021 FISU World University Games

資料6

FISUワールドユニバシティゲームズ(成都) 陸上競技日本代表選手団基幹委員

チームリーダー	山下	玉川大学	強化委員長	理事会承認済
監督	安井 年文	t 青山学院大学	強化委員長補佐	理事会承認済
総 務	米田 勝良	月 名城大学	強化委員	理事会承認済
副総務	木越 清信	第 筑波大学	指導者会議運営委員長	

資料7

2023日本学生陸上競技個人選手権大会 兼 FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都 以下WUG) 日本代表選手選考競技会 要項(案)

2023 All Japan University Track&Field Challenge Meeting

公益社団法人日本学生陸上競技連合 1. 主 催

2.後 援 平塚市、平塚市教育委員会(予定)

3. 運営協力 関東学生陸上競技連盟、一般財団法人神奈川陸上競技協会

4.期 日 2023年4月21日(金)~23日(日)

5. 会 場 レモンガススタジアム平塚 (ハンマー投:未定)

6. 競技種目

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC、10000mW、走高跳、棒高跳、走 幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投

女子18種目

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、100mH、400mH、3000mSC、10000mW、走高跳、棒高跳、走 幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投

※上記に加えて、WUG代表選手選考競技会として以下4種目を実施

10000m (男子·女子)、十種競技、七種競技

7. 競技実施日

別紙記載

8. 参加資格

- 1)2023年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員であって、2022年1月1日(土)から2023年3月19日 (日)の期間に標準記録(別表)を突破しており、WUG日本代表選手として選考された場合は、出場の意思 を有する者。
- 2) 出場を希望する国外の大学生で本連合の承認を得た者。

※各大学1種目あたりの参加人数制限は設けない。

※個人の参加種目数の制限は設けない。

※全部または一部の種目にターゲットナンバー制を採用する場合がある。

9. 参加料

参加者1種目1名につき3500円、混成種目は5000円とする。

(エントリーシステム利用料を含む)

※参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。

1) 本大会は個人エントリーとなる。参加者は、日本学生陸上競技連合HPに掲載された参加申込フォームに必 10. 申込方法 要事項を入力し、2023年3月20日(月)から2023年3月29日(水)までの期間に日本学生陸上競技連合へ申し 込むこと。また、参加料は参加申込フォームに記載された手順に従い、申し込みの際に納入すること。

> 2) 2023年1月1日(日)~3月19日(日)の期間に出した記録については、記録が証明できるものを日本学連事 務局まで郵送すること。

- 11. 競技について 1) 競技は2023年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。
 - 2) 競技に使用する用具は主催者側が用意したものを使用しなければならない。 但し、棒高跳用ポール及び投て き物は個人所有のものが使用できるが、投てき物は検査を受け、許可されたものとする。
- 12. 式 典
- 開式: 4月21日(金)競技開始前 閉式: 4月23日(日)競技終了後
- 13. 表
- 1)各種目第1位から第3位までの入賞者には賞状及びメダル、第4位から第8位までの入賞者には賞状を授 与する。
- 2)10000m及び混成種目については表彰は実施しない。
- 3) A決勝・B決勝を実施する場合には記録の如何に関わらずA決勝の順位が優先する。
- 14. ドーピングコントロール
 - 1) ドーピングコントロールテスト ワールドアスレティックスアンチ・ドーピング規則および規程、もしくは 日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又 は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登 録していない外国人競技者も同様に従うこと。また、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写 真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポー トコピーなどを持参すること。
 - 2) TUE申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技 者は "治療使用特例(TUE)" の申請を行わなければならない。 詳細については、日本陸上競技連盟医事委 員会のホームページ (http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホー ムページ (http://www.playtruejapan.org/) および日本学生陸上競技連合HP (http://www.iuau.jp/index. html/)内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識2023年版」を確認すること。
- 15. 個人情報の取り扱いについて
 - 1) 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した 第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・ 雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。大会の映像は、主催者の許可なく、第三者がこれを 使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。
 - 2) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人 情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸 上競技に必要な連絡等に利用する。
- 16. その他
- 1) 本大会は、スポーツ振興基金助成金を受けて実施する。
- 2) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は一切負わ ない。但し、8. 参加資格1)の該当者は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適 用される場合がある。
- 3) 新型コロナウイルス感染症拡大予防の措置が必要な場合は、ガイドラインに沿って必要な対策を講じる。
- 17. 問合せ先
- 公益社団法人日本学生陸上競技連合 事務局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
- TEL: 03-5304-5542 FAX: 03-5304-5569 Eメール: juauj@joy.ocn.ne.jp

2023日本学生陸上競技個人選手権大会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームズ (成都) 日本代表選手選考競技会 標準記録 (案)

種目	男 子	ターゲットナンバー	女 子	ターゲットナン
100m *	10秒45		12秒00	
200m*	21秒20		24秒90	
400m*	47秒30		56秒80	
800m	1分50秒50		2分13秒00	
1500m	3分47秒80		4分30秒00	
			16分10秒0	25
5000m	13分47秒0	30	3000m 9分15秒00 ※2023年度新入生のみ適用	5
10000m	10000m 28分30秒00	25	10000m 33分30秒00	25
	5000m 13分47秒00	5	5000m 16分10秒00	5
100mH*	_		14秒10	
110mH*	14. 25		-	
400mH*	51.65		1分01秒90	
3000m S C	8分53秒40	20	10分50秒0	20
	10000mW 42分30秒0	25	10000mW 51分30秒0	25
10000mW	10km 42分30秒		10kmW 51分30秒	
	20kmW 1時間28分00秒		20kmW 1時間46分00秒	
走高跳	2m10		1m70	
棒高跳 走幅跳	5m10		3m70	
走幅跳	7m57		5m90	
三段跳	15m40		12m35	
砲丸投 円盤投	15m50		13m50	
円盤投	47m00		44m50	
ハンマー投	61m00		53m50	
やり投	69m00		50m50	
十種競技	6700点	16	_	
七種競技	_		4750点	16

- (注)・「*」を付した種目については、電気計時による記録のみ有効とする。

 - ・手動計時が認められる種目において、電気計場による記録の1/100は切り上げとなる。
 ・10000mと混成種目については個人選手権種目ではなく、WUG代表選考種目として行う。
 ・3000mSCはWUGの代表選考種目であり決勝レース1組のみ行うため、エントリー人数が20人を超えた場合はターゲットナンバーを導入する可能性がある。
 - ・5000mと10000mはWUGの代表選考種目であり決勝レース1組のみ行うため、エントリー人数が30人を超えた場合はターゲットナンバーを導入する可能性がある。

資料8 第26回日本学生ハーフマラソン選手権大会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームズ(成都) 日本代表選手選考競技会 要項

1. 主 催

公益社団法人日本学生陸上競技連合

- 2.期日
 - 2023年3月12日(日)
- 3. コース
- 陸上自衛隊立川駐屯地滑走路、国営昭和記念公園とその外周道路(WA認証コース)
- 4. 競技種目
- 男子ハーフマラソン
- 5. 参加資格
- 2022年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員
- 6. 競技規則
- 2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
- 7. 参加料
- 1)1名につき3000円
- 8. 申込方法
- 2)参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。 1)参加大学は配布された参加申込フォームに必要事項を入力し、申込期日(各地区学生陸上競技連盟が別に定 める)までに各地区学生陸上競技連盟へ申し込むこと。また、参加料は申し込みの際に納入すること。
- 2) 地区学生陸上競技連盟は参加大学の書類を取りまとめ、2023年1月15日(日)15時00分までに日本学生陸上 競技連合に申し込むこと。
- 9. 表 彰
- 第1位から第3位までの入賞者には賞状及びメダルを、第4位から第8位までの入賞者には賞状を贈与する。
- 10. その他
- 1) 本大会において公認される種目は、ハーフマラソンおよび20 k mである。 2) 本大会は立川市、他が主催する「立川シティハーフマラソン2023」と併催される。
 - 3) 競技中に発生した傷害・疾病等についての応急処置は主催者にて行うが、それ以後の責任は一切負わない。 ただし、2022年度日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、こ の保険が適用される場合がある。
 - 4) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人 情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸 上競技に必要な連絡等に利用する。
 - 5) 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等 の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒 体に掲載することがある。
 - 6) 本大会で上位入賞した者には、2024年に開催予定の東京マラソン2024の準エリートの部の参加権を与える
 - 7) FISUワールドユニバーシティゲームズ(成都)の日本代表選手は2023年(令和5年度)に日本学連普通 会員に登録を予定している競技者が選考対象となる。

資料9

第26回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会 兼 FISUワールドユニバーシティゲームズ(成都) 日本代表選手選考競技会要項

- 1. 主 催
- 公益社団法人日本学生陸上競技連合
- 2.期 日
- 2023年3月19日(日)
- 3. コース
- まつえレディースハーフマラソンコース(WA認証コース)
- 4. 競技種目
- 女子ハーフマラソン
- 5. 参加資格
- 2022年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員 2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
- 6. 競技規則 7.参加料
- 1)1名につき2000円
 - 2)参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。
- - 3)10. 選手招待に該当する競技者については、参加料を徴収しない。 1)参加大学は配布された参加申込フォームに必要事項を入力し、申込期日(各地区学生陸上競技連盟が別に定 める)までに各地区学生陸上競技連盟へ申し込むこと。また、参加料は申し込みの際に納入すること。
 - 2) 地区学生陸上競技連盟は参加大学の書類を取りまとめ、2023年2月1日(水)までに日本学生陸上競技連合 に申し込むこと。
- 9. 表

8. 申込方法

- 10. 選手招待
- 第1位から第3位までの入賞者には賞状及びメダルを、第4位から第8位までの入賞者には賞状を贈与する。 今年度は以下の1)、2)または3)の条件を満たした競技者については、大会出場にかかわる費用の一部をま つえレディースハーフマラソン実行委員会が負担する。但し、指定宿舎に宿泊しない場合、宿泊費は自己負担 となる。
- 1) 基準記録A突破者:交通費及び宿泊費(前日1泊)
- 2) 地区学連推薦競技者(各地区学連1名以内): 交通費及び宿泊費(前日1泊)に該当しない競技者で、基準記 録Bを突破した者:宿泊費(前日1泊)

種目	基準記録A	基準記録 B	記録有効期間
ハーフマラソン	1 時間15分00秒	1 時間19分00秒	公認記録であれば時期は問わない
10000m	34分20秒0	35分30秒0	2022年1月1日から2023年1月31日まで
5000m	16分05秒0	16分50秒0	2022年1月1日から2023年1月31日まで

- 11. その他
- 1) 本大会において公認される種目は、10km、及びハーフマラソンである。
- 2) 本大会は松江市、他が主催する「まつえレディースハーフマラソン」と併催される。 宿泊斡旋希望の有無な どについては、「宿泊等申込書」に記入し、参加申込の際に併せて提出すること。【指定及び斡旋宿舎:松江 ニューアーバンホテル】

- 3) 競技中に発生した傷害・疾病等についての応急処置は主催者にて行うが、それ以後の責任は一切負わない。 ただし、2022年度日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、こ の保険が適用される場合がある。
- 4)主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- 5)大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- 6) FISU ワールドユニバシティゲームズ(成都)の日本代表選手は2023年(令和5年度)に日本学連普通会員に登録を予定している競技者が選考対象となる。

資料10

第17回日本学生20km競歩選手権大会 兼 ISUワールドユニバーシティゲームズ(成都) 日本代表選手選考競技会 要項

1. 主催

公益社団法人日本学生陸上競技連合

2.期 日

- 2023年3月19日(日)
- 3. コース
- 能美市営20kmコース(WA認証コース)
- 4. 競技種目
- 男子20km競歩、女子20km競歩
- 5. 参加資格
- 1)2022年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員
- 2) 有効期間内に参加標準記録を突破した者。なお、参加標準記録及び有効期間は、第47回全日本競歩能美大会の要項を参照のこと。
- 6. 競技規則
- 7. 参加料
- 2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。 1)1名につき4000円
- . 参加科
- 2)参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。
- 8. 申込方法
- 第46回全日本競歩能美大会の要項に従って申し込むこと。
- 9. 表 彰
- 優勝者には日本学生陸上競技連合杯、メダル及び賞状を、第2位、第3位にはメダル及び賞状を、第4位から第8位までには賞状をそれぞれ贈与する。
- 10. その他
- 1)本大会は日本陸上競技連盟、他が主催する「第47回全日本競歩能美大会」と併催される。
- 2) 競技中に発生した傷害・疾病等についての応急処置は主催者にて行うが、それ以後の責任は一切負わない。 ただし、2022年度日本学生陸上競技連合普通会員は原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この 保険が適用される場合がある。
- 3) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- 4)大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- 5) FISUワールドユニバシティゲームズ(成都)の日本代表選手は2023年(令和5年)に日本学連普通会員に登録を予定している競技者が選考対象となる。

資料11 令和5年公益社団法人日本学生陸上競技連合 学生役員一覧(案)

役職	氏名	フリガナ	大学	学年	地区
幹 事 長	﨑 井 優希菜	サキイ ユキナ	東京国際大学	4	連合
副幹事長	三 浦 拓 也	ミウラ タクヤ	東 海 大 学	2	連合
常任幹事	安 岡 あき実	ヤスオカ アキミ	中 央 学 院 大 学	4	連合
常任幹事	山崎るな	ヤマザキ ルナ	順天堂大学	4	連合
常任幹事	横 川 侑 香	ヨコカワ ユウカ	法 政 大 学	2	連合
常任幹事	吉 田 飛 菜	ヨシダ ヒナ	東 北 大 学	3	連合
常任幹事	松 岡 諒	マツオカ リョウ	至 学 館 大 学	4	連合
幹事	森川弓月	モリカワ ユヅキ	北海道大学	3	北 海 道
幹事	阿部北斗	アベ ホクト	宮 城 教 育 大 学	3	東北
幹事	月 岡 葵梨香	ツキオカ キリカ	法 政 大 学	4	関 東
幹事	茂 木 麻 実	モギ アサミ	青 山 学 院 大 学	3	関 東 関
幹事	児 玉 怜 奈	コダマ レナ	青 山 学 院 大 学	4	関東
幹事	中 嶋 優 葉	ナカジマ ユウハ	日本体育大学	4	関 東 関
幹事	福田優依	フクダ ユイ	明 治 大 学	4	関東
幹事	芝 野 泰 志	シバノ タイシ	信 州 大 学	2	北信越
幹事	坂 本 彩 華	サカモト アヤカ	愛 知 教 育 大 学	4	東海
幹事	岡 江 未 莉	オカエ ミリ	至 学 館 大 学	3	東 海
幹事	犬 飼 佳 寛	イヌカイ ヨシヒロ	名 古 屋 大 学	4	東 海
幹事	西山在喜	ニシヤマ アリキ	立 命 館 大 学	4	関 西
幹事	平 林 里和子	ヒラバヤシ リワコ	同志社女子大学	4	関 西
幹事	松田愛香	マツダ アイカ	同 志 社 大 学	3	関 西
幹事	野 坂 勇 真	ノザカ ユウマ	広 島 大 学	3	中 四 国
幹事	江 川 未 悠	エガワ ミユ	西 南 学 院 大 学	3	九州

26 会議報告

向上と進展会報166.indd 26 2023/01/09 12:47

資料12 執行役員による職務執行の状況報告(9/8以降)

月 日	行事(報告内容)
9月8日(木)	第55回理事会 (京都/都ホテル)
9月9日(金)~9月11日(日)	天皇賜盃第91回日本学生陸上競技対校選手権大会開催 於:京都市西京極
9月14日(水)	指導者会議運営委員会 ZOOMによるオンライン会議
9月15日(木)	第2回富士山女子駅伝実行委員会(於:富士市/ZOOM併催)
9月15日(木)	強化委員会 ZOOMによるオンライン会議
9月21日 (水)	2023年度日本インカレ・日産スタジアム開催のための依頼挨拶(於:横浜市役所)
9月26日(月)	全日本大学女子駅伝・事務局 (読売新聞) 打合 (於:日本学連事務局)
9月29日(木)	全日本大学女子駅伝実行委員会 (於:仙台市/ZOOM併催)
9月30日(金)	日本インカレ/ライブ配信ミーティング (YTB) (於:日本学連事務所)
10月3日(月)	出雲駅伝記者発表(島根県/東京運動記者クラブ)
10月3日(月)	ワールドコンペティション (WRK) 日本学連説明会 (ZOOMによるオンライン会議)
10月9日(日)~10日(月祝)	第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走開催 (於:出雲市)
10月13日 (木)	サッカーJリーグ本部訪問(日本インカレ日産スタジアム利用に関して)
10月14日 (金)	第63回実業団・学生対抗陸上競技大会 2者打合会議(ZOOMによるオンライン会議)
10月17日(月)	富士山女子駅伝・ミーティング (於:日本学連事務所)
10月24日 (月)	富士山女子駅伝・ミーティング (於:日本学連事務所)
10月26日 (水)	日本陸連/2者-新登録システム説明ミーティング(ZOOMによるオンライン会議)
10月29日(土) ~30日(日)	第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会開催(於:仙台市)
10月31日(月)	宮城県警/駅伝終了挨拶(於:仙台市)
11月1日(火)	朝日新聞社・2者 駅伝ミーティング(ΖΟΟΜによるオンライン会議)
11月2日(水)	全日本大学駅伝 監督マネージャー会議事前ミーティイング(ZOOMによるオンライン会議)
11月4日(金)	富士山女子駅伝・交通対策会議 (於:富士市)
11月5日(土) ~6日(日)	第54回全日本大学駅伝対校選手権大会開催(於:名古屋市/伊勢市)
11月9日(水)	富士山女子駅伝・ミーティング (於:日本学連事務所)
11月11日 (金)	2023年実学対抗陸上/神奈川陸上協会-協力依頼(横浜市/神奈川陸協事務所)
11月14日 (月)	強化委員会(ZOOMによるオンライン会議)
11月15日 (火)	JOC: ワールドユニバーシティーゲイムズ事務手続き説明会 (ZOOMによるオンライン会議)
11月15日 (火)	日本学連:ワールドユニバーシティーゲイムズ対策会議(ZOOMによるオンライン会議)
11月16日 (水)	日本陸連/グランプリシリーズ説明会(実学がグランプリシリーズに参入)(ZOOMによるオンライン会議)
11月17日 (木)	富士山女子駅伝実行委員会(於:富士市/ZOOM会議併催)
11月18日 (金)	日本スポーツ振興センター/令和5年度くじ助成金制度説明会(ZOOMによるオンライン会議)
11月21日 (月)	日本陸連∕2者−新登録システム説明ミーティング (ZOOMによるオンライン会議)
11月22日 (火)	第63回実業団・学生対抗陸上競技大会 2者打合会議(ZOOMによるオンライン会議)
11月24日 (木)	競技委員会(於:日本学連事務所/ZOOM会議併催)
11月29日 (火)	YTVミーティング/競技会ライブ配信の扱いについて(於:日本学連事務所)
11月29日 (火)	日本学連:ワールドユニバーシティーゲイムズ対策会議(ZOOMによるオンライン会議)
12月1日(木)	富士山女子駅伝事務局会議(於:富士市)
12月7日(水)	全日本大学女子駅伝実行委員会(於:仙台市/ZOOM併催)
12月9日(金)	企画委員会(ZOOMによるオンライン会議)
12月12日 (月)	富士山女子駅伝地元記者発表(於:静岡県庁)
12月13日 (火)	平塚市・2023年度競技会2者ミーティング(於:日本学連事務局)
12月13日 (火)	日本学生ハーフマラソン選手権大会事務局ミーティング(於:泉体育館)
12月13日 (火)	松江レディースハーフマラソン (学生女子ハーフ) 事務局ミーティング (於:日本学連事務局)
12月15日 (木)	富士山女子駅伝実行委員会(於:富士市/ZOOM会議併催)
12月16日(金)	全日本大学駅伝小委員会(ZOOMによるオンライン会議)
12月17日 (土)	2022年度学生会議(於:新宿TKP会議室)
12月17日 (土)	栄章 (日本学生新記録章) 贈与式 (於:新宿TKP会議室)
12月17日 (土)	第56回理事会 (於:新宿TKP会議室)

資料13 第35回出雲全日本大学選抜駅伝競走 各地区学連出場枠について(2023年)

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

- 1. 基本枠(8) 各地区学連には、基本枠として1枠ずつを配分する。
- 2. 成績枠(12)前年度大会で1位~12位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
- (注1)出場枠が1の学連においては、出場資格を「選抜チーム」または「単独校チーム」のどちらかを選ぶことができる。出場枠が 2以上の学連においては、「単独校チーム」のみとなる。
- (注2)ひとつの地区学連の出場枠は最大で10(基本枠・成績枠の合計)とする。出場枠が10を超えた地区学連は、超過分の成績枠を13位のチームの所属する地区学連に譲ることとなる。
- (注3)アイビーリーグ選抜が12位以内の場合は13位のチームの所属する地区学連に成績枠を配分する。

1. 成績枠の配分

	第34回大会結果					
1	駒 澤 大 学	関東				
2	國學院大學	関東				
3	中央大学	関東				
4	青山学院大学	関東				
5	順天堂大学	関東				
6	創 価 大 学	関東				
7	法 政 大 学	関東				
8	東京国際大学	関東				
9	東洋大学	関東				
10	関西学院大学	関西				
11	帝京大学	関東				
12	立命館大学	関西				
13	環太平洋大学	中国四国				

	次回 第35回大会出場枠					
	関東1					
	関東2					
	関東3					
	関東4					
	関東5					
	関東6					
成績枠	関東7					
	関東8					
	関東9					
	関西1					
	関東10 (超過)					
	関西2					
	中国四国1(関東超過分)					

2. 第35回大会各地区学連出場枠について

地区		第34回大会		
1번스	出場枠数	基本枠	成績枠	出場枠数
北海道	1	1	0	1
東北	1	1	0	1
関東	10	1	9	10
北信越	1	1	0	1
東 海	1	1	0	1
関 西	3	1	2	4
中四国	2	1	1	1
九州	1	1	0	1
合 計	20	8	12	20

資料14 第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 各地区学連出場枠について(2023年)

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

- 1.シード枠(8)前年度大会で1位~8位に入った大学には、出場シード権を与える。
- 2. 成績枠(9)前年度大会で9位~17位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
- 3. 基本枠(8) 成績枠で、枠を獲得できなかった地区に1枠ずつ配分する。残った枠については、5000m6名(当該年度内のタイム)の合計タイムにより出場校を決定する。
- (注) その他、大会主催者の認める選抜チームのオープン参加を認める場合がある。

1. シード枠及び成績枠の配分について

第40回大会結果					
1	名 城 大	東海			
2	立命館大	関西			
3	大阪学院大	関西			
4	大東文化大	関東			
5	拓 殖 大	関東			
6	日本体育大	関東			
7	城 西 大	関東			
8	関 西 大	関西			
9	福岡大	九州			
10	大阪芸術大	関西			
11	東京農業大	関東			
12	関西外国語大	関西			
13	東北福祉大	東北			
14	中 央 大	関東			
15	佛 教 大	関西			
16	中京学院大	東海			
17	順天堂大	関東			

)	次回 第 41 回	大会出	場枠	
	名	城	大	
	立	命負	官 大	
シード枠				
V 1 1T	拓			
	日	本 体	育 大	
	城	西	大	
	関	西	大	
	九	州	1	
	関	西	1	
	関	東	1	
	関	西	2	
成績枠	東	北	1	
	関	東	2	
	関	西	3	
	東	海	1	
	シード枠	名立大大折日城関九関関関関関関関	名 城 立 命 食 大阪東文 大大東東 日本体域 財 西 九 州 関 東 成績枠 成績枠 成績枠 関東 関東 関東 関東 関 西 財 大 財 日	立命館大 大阪学院大 大東文化大 拓殖大 日本体育大 城西大 関西大 九州1 関西1 関西2 成績枠 成績枠 成績枠 成績枠 東北1 関東2 関西3

2. 第41回大会各地区学連出場枠について

地区	# 	シード枠	成績枠	基本枠	基本枠 (5000 m 6 名の 合計タイム)	第40回
北海道	1	0	0	1		1
東北	1	0	1	0		1
関東	7	4	3	0		5
北信越	1	0	0	1	5	1
東海	2	1	1	0	3	2
関 西	6	3	3	0		7
中四国	1	0	0	1		1
九州	1	0	1	0		1
合 計	20	8	9	3	5	19

※上記の結果から、第41回大会のシード枠以外の各地区学連からの出場枠は次の通り、北海道1、東北1、関東3、北信越1、東海1、関西3、中国四国1、九州1となる。さらに、すべての地区を対象として5000m6名(当該年度内のタイム)の合計タイムから上位5校を選出する。ただし、選考の対象となるのは各地区選考会にエントリーした大学に限り、対象となる記録は、2023年4月1日~9月末日の期間に出した記録でなければならない。なお、電気計時による記録のみ有効とする。シード枠、成績枠、基本枠で出場校の数が満たない場合は5000m6名の合計タイムの枠に回す。

資料15 第55回全日本大学駅伝対校選手権大会 各地区学連出場枠について(2023年)

【各地区学連出場枠について】

以下の配分方法により、毎年各地区学連からの出場枠を決定する。

- 1.シード枠(8)前年度大会で1位~8位に入った大学には、出場シード権を与える。
- 2. 基本枠(8) 各地区学連には、基本枠として1枠ずつを配分する。
- 3. 成績枠(9)前年度大会で9位~17位のチームの所属する地区学連の数を出場枠として配分する。
- (注1)ひとつの地区学連の出場枠は最大で15(シード枠・基本枠・成績枠の合計)とする。出場枠が15を超えた地区学連は、超過分の成績枠を18位のチームの所属する地区学連に譲ることとなる。
- (注2) その他、大会主催者の認める選抜チームのオープン参加を認める場合がある。

1. シード枠及び成績枠の配分について

	第54回大会結果	
1	駒沢大学	関東
2	國學院大學	関東
3	青山学院大学	関東
4	順天堂大学	関東
5	創 価 大 学	関東
6	早稲田大学	関東
7	中 央 大 学	関東
8	東洋大学	関東
9	明治大学	関東
10	東海大学	関東
11	東京国際大学	関東
12	神奈川大学	関東
13	中央学院大学	関東
14	大東文化大学	関東
15	日本大学	関東
16	関西学院大学	関西
17	大阪経済大学	関西
18	立命館大学	関西

	次回 第 55 回大会出場枠
	駒澤大学
	國學院大學
	青山学院大学
2014	順天堂大学
シード枠	創 価 大 学
	早稲田大学
	中 央 大 学
	東洋大学
	関 東 1
	関 東 2
	関 東 3
	関 東 4
成績枠	関 東 5
从侧针	関 東 6
	関東7(超過)
	関 西 1
	関 西 2
	関西3(関東超過分)

2. 第55回大会各地区学連出場枠について

地区		第54回			
	計	シード枠	基本枠	成績枠	第34 回
北海道	1	0	1	0	1
東北	1	0	1	0	1
関東	15	8	1	6	15
北信越	1	0	1	0	1
東海	1	0	1	0	2
関 西	4	0	1	3	3
中四国	1	0	1	0	1
九州	1	0	1	0	1
合 計	25	8	8	9	25

資料16

第68回 指導者会議 開催要項(案) /指導者会議運営委員会

テーマ
:大学陸上競技指導者に求められる資質および能力を考える

目 的 :過去2回のコンプライアンス研修会の内容を踏襲しつつ、応用編として陸上競技に特化した指導者に求めら

れる資質,知識,能力を考える.

日 時 : 令和5年3月4日(土) ※概ね90分を予定しています。

対 象 : 公益社団法人日本学生陸上競技連合関係者(仮)

開催方式 :対面? オンライン? ハイブリッド?

・社会情勢による柔軟に対応します ・2月初旬にはアナウンスできればと思います

プログラム : 第1部 山本 浩先生(法政大学 教授,日本陸連指導者育成委員会委員長)

日本陸連の指導者養成の方向性 指導者育成指針のご説明

第2部 工藤洋治先生(弁護士 本学連 常務理事)

裁判例に学ぶ陸上競技の安全対策

第3部 ディスカッション

お二人にお聞きしたいこと、現場の指導における問題意識について事前に調査しておきます.

|2022年日本学生新記録章贈与式を開催

- **1. 日時** 令和 4 年 12 月 17 日 (土) 14:00 ~ 14:20
- 2. 場所 TKP新宿カンファレンスルーム

2022年に日本学生新記録を樹立した以下の選手及び指導者に対し、日本学連・松本会長より、章記と報奨金が贈呈されました。

日本学生新記録

●不破 聖衣来(ふわせいら)選手 拓殖大学

女子10000 m: 30分45秒21(2021年12月11日)

関西実業団ディスタンストライアル

指導者: 拓殖大学女子陸上競技部·監督

五十嵐 利治(いがらしとしはる)様

●吉村 玲美 (よしむら れいみ) 選手 大東文化大学

女子3000 m S C: 9 分 39 秒 86 (2022 年 6 月 11 日)

第106回日本陸上競技選手権大会

指導者:大東文化学陸上競技部·監督

外園 隆(ほかぞの たかし)様

●船田 茜理(ふなだあかり)選手 武庫川女子大学

女子三段跳:13m81(2022年8月7日)

第17回トワイライト・ゲームス

指導者:武庫川女子大学陸上競技部·監督

伊東 太郎(いとう たろう)様

※不破選手、五十嵐監督、吉村選手、外園監督は欠席



女子三段跳で日本学生新記録を樹立した船田茜理選手(武庫川女子大、中央)

会議報告 31

向上と進展会報166.indd 31 2023/01/09 12:47

強化委員会より

2022年の活動報告について

強化委員長 山下 誠

2022年度はワールドユニバーシティゲームズ(以下WUG)への代表選手選考作業から強化委員会は始まった。新型コロナ感染症の影響による開催延期という異例の事態を受けて、代表内定者を含む選考対象者の扱い、選考競技会の設定、その参加資格など諸々の再検討がなされ、3月、4月の選考競技会の結果から、新たに代表選手が選出された。残念ながら5月に再延期が決定となり、代表選手はもちろんであるが、選考作業に関わった関係者各位のご尽力、特に学連幹事の皆さんが費やした膨大な時間が報われず無念な結果となってしまった。2度目の延期となったWUGについて強化委員会では、あらためて選考要項の検討作業を行い次回に向けての準備を再開している。

8月の実業団・学生対抗陸上では実業団連合の強化委員会と連携して、種目調整、選手選考などを行った。時期や他の競技会との兼ね合いの問題や、選手選考が難航した種目もあり、女子1500mが取りやめになったことは今後の課題となった。次回以降の対策として、大会を日本GPシリーズへと格上げすることが検討されている。国際競技会を視野に入れた競技者にとって、WAランキング制度におけるポイント獲得の好機となる大会へと展開して行きたい。

9月には京都で日本インカレが、有観客で開催された。新型コロナ感染症の影響を受けた期間を考慮した参加標準記録の設定が、結果的には過剰とも言えるエントリー数を受け付けることになってしまい、収益面ではプラスもあったものの、競技者、運営関係者に大きな負担をかけてしまった。大会後に問題点を検証し、次大会の標準記録の見直しを行った。また、現行の3日間開催という日程についても協議が行われ、現場の指導者からは競技者の負担を軽減することや、より高いパフォーマンス発揮のために4日間開催を希望する声が多いという状況も把握できた。ただし、日程に関しては運営面の様々な条件をクリアすることが前提であり、早計には結論が出せないという現状も委員間で共有された。

10月以降の各駅伝では有力視されていた大学の活躍が目立った。駒澤大学、名城大学の連覇はもとより、各大学の主力選手がその実力を高いレベルで発揮するパフォーマンスを見せた。特に全日本大学駅伝(男子)においては、コンディションに恵まれたこともあり、3連覇を遂げた駒澤大学が大会記録を4分以上更新し、上位4大学も大会新記録であったことは特筆すべき結果であった。

競技委員会より

2022年の活動報告について

競技委員長 関根 春幸

競技委員会では学生幹事をサポートして、日本学生陸上競技連合主催大会の円滑な運営を行っています。それに加えて、各地区学連主催競技会の開催申請や記録申請などもチェックをしています。

まず、日本学生陸上競技連合主催大会ですが、大会要項が 強化委員会主導で作成されます。その要項を作る際に、競技 会会場となる場所を確認し、予約します。昨今、ハンマー投会 場が競技会を行う同じ会場でできずに苦労することが増えて います。なるべく1つの競技会場ですべての競技ができるこ と、競技会を盛り上げるために大型スクリーンが備え付けら れていること、夜間照明があり競技会が薄暗くなってからも 継続できることなどを考慮に入れ、競技場の選定を行います。

競技場が決定すると次は競技役員の確保をします。競技場のある地域の公認審判員の派遣を地域の陸上競技協会にお願いしたり、各地区学連の学生審判員の派遣をお願いしたり、近隣の大学からの補助員をお願いするため、各大学にお願いしたりしています。平日の大会開催では公認審判員の参加が厳しいことに加え、学生も授業があることで人手が足りない状況が続いています。

続いてエントリー作業が始まります。エントリーを受け付け、競技者名やフリガナ、資格記録に至るまで間違いはないかどうかチェックし、エントリーを受け付けます。2023年から主催大会はすべてWAへ申請するため、新たに生年月日の提出も必要となっています。受付後は、資格記録に従ってルール通りに番組編成を行い、スタートリストを作成します。

それと同時に競技日程や予選・準決勝・決勝の進み方も決めていきます。インカレでは各大学1種目3名までが出場し、対校得点で争いますから、その3人を同じ組に入れないなど

の工夫をしながら作業を進めます。ここである程度、どんな 競技会になるかが見えてきますので、学生幹事を中心に競技 運営マニュアルを作成し、学生幹事がどんな仕事いつする か? それに競技委員がどのようにかかわるか? などの計 画を策定します。

大会当日は大会役員や競技役員の一員として大会運営に関わり、学生幹事をバックアップしています。大会終了後もしっかり反省をして、次の大会をより良いものにするために努力しています。

地区学連との関わりですが、学生幹事幹部研修会で競技会 運営について研修したり、競技会会場に出向いて実際の運営 を研修したりしています。また、競技会申請の受付や記録申 請の際のリザルトのチェックを行い、競技会がルール通りに 行われているかを確認しています。

ルール修改正に伴い、学生審判に講習を行うこともあります。なかなかルールを聞いて実践できる人はいませんので、現場に出向いてルールの適用方法なども今後伝えていければと思っています。今年は大きな修改正はないようですが、ワールドランキングポイント対象大会の申請や記録申請の方法など少し変わります。そのような情報も早めに把握し、学生幹事や世界で活躍する学生競技者にもその内容を熟知してもらうことを目指します。そうすることでさらに良いパフォーマンスにつながり、うれしい報告ができるようになればと思います。

2023年4月からの競技会にもきちんと運用できるよう、学生幹事と連携しながら各地区学連に届くように研修の機会を設けたいと思います。今後も素晴らしい競技会の実現に向けて、努力してまいります。

32 報告等

◆日本学生陸上競技連合「陸上競技研究」購読者募集

「学べる学連」を旗印に、1990年に「陸上競技研究」第1号が発行されました。この研究誌は、研究から得られた知見をコーチング現場に導入したり、逆にコーチング現場での問題点を研究によって解決しようという意欲の喚起に役立ちました。多くの総説、原著論文、研究資料、実践研究、一流競技者の育成過程をまとめた事例報告、国際競技会報告、卒業論文紹介、海外論文の紹介、海外事情など多くの読者に提供しております。これから得られる莫大な量の科学的知見が、我が国の陸上競技発展の一助になったことは間違いないと思います。昨今、購読者の減少が続いておりますが、日本学連の理念でもあります陸上競技の「向上と進展」のため、充実した発行に向け努力してまいりたいと思いますので今後ともご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

「陸上競技研究」発行における 令和3年度スポーツ振興くじ助成金の実施結果について

日本学生陸上競技連合は、「調査研究」を公益目的事業の1つとして掲げているなかで、「陸上競技研究」を年4回発行し、加盟校および会員の皆様にお届けしております。

令和元年度は、スポーツ振興くじ助成 (toto 助成金) を受け、第125号~第128号を発行しました。この助成事業実施に関わる収支は以下の通りです。

【令和3年度「陸上競技研究」発行事業の収支決算】

(収入)単位:円

(100 0) 1 1 1 1 3		
科目	令和3年度	備考
くじ助成金	2,935,000	
自己負担額	2,336,710	
購読者売上	774,000	
合 計	6,045,710	

(支出)

(22)		
科目	平令和3年度	備考
諸謝金	319,550	
印刷製本費	1,968,340	助成対象経費
通信運搬費	718,520	
編集費/デザイン	2,643,300	助成対象経費
その他	396,000	
合 計	6,045,710	

「陸上競技研究」発行における 令和4年度スポーツ振興くじ助成金の実施予算について

令和4年度は、年4回発行から3回(129号~第131号)へ変更しました。本年も昨年に引き続き、スポーツ振興くじ助成(toto助成金)を受けて実施する予定です。この助成事業の令和4年度収支予算は以下の通りです。

【令和4年度「陸上競技研究」発行事業の収支予算書】

(収入) 単位:円

科目	令和4年度	備考
くじ助成金	2,320,000	令和4年度決定
自己負担額	1,776,210	
購読者売上	800,000	
合 計	4,896,210	

(支出)

(文山)		
科目	令和4年度	備考
諸謝金	198,000	
旅費交通費	66,000	
消耗品費	66,000	
印刷製本費	1,493,910	助成対象経費
通信運搬費	544,500	
編集費/デザイン	2,131,800	助成対象経費
その他	396,000	
合 計	4,896,210	

報告等 33

令和4年 日本学生陸上競技連合 会員について(2022年度) 令和4年度確定

正会員 135名

普通会員 18,916名

賛助会員 7名

日本学生陸上競技連合 普通会員の各月変遷 単位:人

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中四国	九州	月合計
年度前	228	443	6, 364	584	1, 209	2,771	1, 204	826	13,629
4月	240	208	884	215	188	548	301	482	3,066
5月	97	125	545	82	179	76	107	122	1, 333
6月	11	45	125	45	39	133	36	42	476
7月	3	9	69	9	12	36	69	37	244
8月	12	12	37	1	7	16	5	10	100
9月	6	11	9	6	1	3	7	12	55
10月	0	2	11	0	8	7	5	0	33
11月	0	0	4	0	0	5	3	0	12
12月	0	0	11	0	0	2	1	0	14
二重登録	0	-1	-3	0	-1	-2	-2	-7	-16
退会者	0	0	-11	0	-3	-15	-1	0	-30
合計	597	854	8, 045	942	1,639	3, 580	1, 735	1, 524	18, 916

增員数 351名

【参考:普通会員数の推移】

単位:人

												十四・八
年度	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	合計	前年比	5年前比	10年前比
2022	597	854	8, 045	942	1,639	3, 580	1, 735	1, 524	18, 916	351 ↑	-1, 867	742
2021	560	890	7,883	915	1,667	3, 517	1,654	1, 479	18, 565	391 ↑	-2, 132	687
2020	556	896	7,704	914	1,610	3, 419	1,600	1, 475	18, 174	-2,122 ↓	-1, 916	933
2019	702	979	8, 373	996	1, 938	3,764	1, 787	1,757	20, 296	-446 ↓	840	3, 444
2018	726	1,017	8,487	1,024	2,073	3,808	1,832	1,775	20,742	-41 ↓	2, 168	4,085
2017	749	973	8,588	1,009	2,098	3,758	1,853	1, 755	20, 783	86 ↑	2,609	4, 450
2016	756	933	8,578	1,009	2,088	3,689	1,884	1,760	20,697	607 ↑	2,819	4, 483
2015	705	943	8, 221	1,021	2,007	3, 547	1,904	1,742	20,090	634 ↑	2,849	4, 269
2014	680	929	7,981	965	1,936	3, 507	1,843	1, 615	19, 456	882 ↑	2,604	4, 230
2013	628	914	7, 547	903	1,835	3, 383	1,781	1,583	18, 574	400 ↑	1, 917	3,991
2012	640	910	7, 273	832	1,826	3, 360	1,736	1,597	18, 174	296 ↑	1,841	3,969
2011	711	933	7,065	834	1,756	3, 236	1,723	1,620	17,878	637 ↑	1, 664	3,929
2010	688	919	6, 792	821	1, 686	3, 106	1,653	1,576	17, 241	389 ↑	1, 420	3,374
2009	715	878	6,641	879	1, 611	3,000	1,630	1,498	16,852	195 ↑	1,626	2,920
2008	754	952	6,626	822	1,480	2,923	1, 598	1,502	16,657	324 ↑	2,074	
2007	651	977	6, 497	799	1, 426	2,870	1, 520	1, 593	16, 333	119 ↑	2, 128	
2006	651	1,005	6, 452	743	1, 493	2,829	1, 471	1,570	16, 214	393 ↑	2, 265	
2005	636	1,041	6, 258	763	1,429	2,728	1, 441	1,525	15,821	595 ↑	1,954	
2004	599	984	6, 118	751	1, 321	2,605	1, 410	1,438	15, 226	643 ↑	1,294	
2003	587	885	5,864	749	1, 257	2, 519	1,311	1, 411	14, 583	378 ↑		
2002	604	841	5,663	755	1, 184	2,478	1, 259	1,421	14,205			

2022	年度	男子	女子	合計	前年比	比率(%)
北海	毎 道	465	132	597	37	3. 2
東	北	658	196	854	-36	4.5
関	東	6, 189	1,856	8,045	164	42.5
北信	言 越	742	200	942	27	5.0
東	海	1, 193	446	1,639	-28	8.7
関	西	2,519	1,061	3,580	72	18.9
中国	四国	1, 325	410	1, 735	81	9.2
九	州	1, 154	370	1,524	45	8.1
全	体	14, 245	4,671	18, 916	362	

2021年度	男子	女子	合計
北海道	440	120	560
東北	664	226	890
関東	6, 051	1,830	7,881
北信越	729	186	915
東 海	1, 203	464	1,667
関 西	2,482	1,026	3, 508
中国四国	1, 253	401	1,654
九州	1, 122	357	1,479
全 体	13, 944	4,610	18, 554

34 その他

令和4年度 **賛助会員** (1月15日現在 五十音順、敬称略)

ご入会ありがとうございました

浅見美弥子 阿保 雅行 石黒 成彬 入江 毅 金子今朝秋 黒岩 重幸 桑原 美代 小池 七郎 河野 洋平 櫻井 孝次 田中 淳浩 豊岡 示朗

藤井 英嘉 丸山 敦夫 山崎 健 米谷 元捷

賛助会員募集中

この法人の目的及び活動に賛同し賛助する個人又は団体の方は、是非ご検討ください。

〈年会費〉 賛助会員 ¥10,000 (1口)

※年会費は毎年納入していただく必要があり、年度内(3月31日)まで有効となります。 ※本法人への賛助会費は寄付として扱われ、所得税等の納税控除の対象となります。

〈特典〉 ・会報への氏名・団体名の記載

・天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会への無料入場

〈入会手続きについて〉

- ①申込書(個人・団体)に必要事項を記入し、本法人へ郵送又はFAXしてください。
- ②本法人の指定銀行口座へ、年会費をお振込み願います。
- ③ご入金が確認でき次第、本法人の賛助会員として登録させていただきます。

何かご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

[発行所] 公益社団法人 日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階 TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

|編|集|後|記|

会報第165号(令和4年10月7日発刊)以降の事業では、10月10日に第34回出雲全日本大学選抜駅伝競走(出雲市内のコース)、10月30日に第40回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(仙台市内のコース)、11月6日に秩父宮賜杯第54回全日本大学駅伝対校選手権大会(熱田神宮〜伊勢神宮のコース)を開催しました。現在(令和4年12月22日時点)では12月30日に開催予定の2022全日本大学女子選抜駅伝競走の準備に追われています。

終了した3つの駅伝はコロナ対策に全神経を使いながら 開催しました。大会運営もお陰様でコロナ禍以前のレベルで 開催することができました。コロナ感染が第8波とも言われ、 徐々に増えている現状ですが、油断しないよう2022全日本大 学女子選抜駅伝競走もより慎重に感染対策を実行していると ころです。

ワールドユニバーシティゲームズ (WUG 中国/成都)は 2022年5月に再度延期の発表があり、2023年7月28日~8月8月(陸上競技は8月1日~8月6日)に開催されるとの通知がFISUおよび JOCからありました。これを受け、2023年3月の男女競歩、男女ハーフマラソン、4月に開催予定の個人

選手権を代表選手選考会にしました。

2022年12月17日に第56回日本学連理事会が開催され、2023年のWUGのチーム編成について協議されました。その結果、①日本学連の使命は現役の大学生の競技力向上であること、②JOCの派遣方針が日本代表選手は原則として現役大学生として、将来オリンピック等国際大会で活躍が期待できるものとして推薦された中から選考する、等から「2023年開催のWUG(中国/成都)における陸上競技のチーム編成は現役大学生のみで編成する」ことになりました。また、2023年度のトラック&フィールドの日程も決まりました。4月21日(金)~23日(日)に2023日本学生陸上競技個人選手権大会兼WUG選考会(平塚市)、7月1日に第63回実業団・学生対抗陸上競技大会(平塚市)、9月14日(木)~17日(日)に第92回日本学生陸上競技対校選手権大会(熊谷市)が開催予定です。

コロナがいつ終息するか見通しは立ちませんが、その中、日本学生陸上競技連合は用心に用心を重ね、また皆様からいろいろご意見をお伺いしながら粛々と令和4年度、令和5年度の事業計画を進めていくつもりです。今後とも進展と向上を目指したいと存じます。 (副会長兼専務理事 永井 純)

その他 35

|陸上競技研究| 購読のご案内



公益社団法人日本学生陸上競技連合は機関研究誌『陸上競技研究』を発行しています。 購読会員として入会ご希望の方は,年会費(6,000円)を下記へ郵便振替にてご送金ください。

口座記号番号 00190-4-142923

加入者名 ㈱陸上競技社 陸上競技研究

通信欄に「何号から1年間」と必ず明記してください。

バックナンバーについては(株)陸上競技社 (TeLO3-5215-8881) にお問い合わせください。

(株) 陸上競技社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-6 TEL. 03(5215)8881 FAX.03(5215)8882 http://www.rikujyokyogi.co.jp

向上と進展会報166.indd 36 2023/01/09 12:47